

コントロールパネル基本操作手順書

Ver.0.7.2

2023/1/6

株式会社スピーディア

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第1版	2021年12月14日	初版発行
	2021年3月30日	「メールアカウントを作成したい」の項目修正
	2021年4月7日	「ドメイン」の説明を追加
	2021年10月13日	細かい文言の修正
	2021年11月2日	メールボックス仕様について追加
	2021年11月25日	「MultiPHP マネージャー」の説明を追加
	2021年12月14日	「リダイレクト」の説明を追加
	2022年2月21日	「Spam Filters」の説明を追加
	2022年4月26日	「jupiter」テーマ版へ画像を変更
	2022年6月1日	「メールアドレスを一括で作成したい」、「一括で複数の転送設定をしたい」の項目追加
	2022年6月8日	「コントロールパネルのテーマを変更したい」の項目追加
	2022年10月14日	cpanel02.jpserve.jp リリースに伴い、URL 追加 サーバ情報確認方法追加 「PHP のバージョンを変更したい」の項目の注意事項を追記
	2022年10月21日	FTP クオータ設定について注意事項を追記
	2023年1月6日	「PHP のバージョンを変更したい」の項目の注意事項を修正

目次

1.	コントロールパネルへのログインについて	1
	コントロールパネルへログインしたい	1
	コントロールパネルからログアウトしたい	3
	コントロールパネルのテーマを変更したい	4
	コントロールパネルの表示言語を変更したい	6
	コントロールパネルへのログインユーザー名を忘れた	7
	コントロールパネルへのログインパスワードを忘れた	7
	コントロールパネルのログインパスワードを変更したい	8
	サーバ情報を確認したい	10
2.	メール	12
	メールアドレスを作成したい	12
	メールアドレスを一括で作成したい	15
	<Excel ファイル (.xls)をインポートして作成する場合>	15
	<CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)をインポートして作成する場合>	18
	メールアカウントを削除したい	20
	メールアドレスのパスワードを変更したい	22
	メールソフトへの設定情報を確認したい	23
	<WEB メールから確認する方法>	23
	<コントロールパネルから確認する方法>	26
	メールボックスの容量を確認・変更したい	27
	<Web メールから容量確認を行う場合>	29
	メールを別のメールアドレスへ転送したい	30
	<転送元アドレスでもメールを受信したい（転送元にもメールを残す）場合>	30
	<転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい（転送元にメールを残さない）場合>	33
	一括で複数の転送設定をしたい	36
	<Excel ファイル (.xls)をインポートして転送設定する場合>	36
	<CSV ファイル (コンマ区切り値ファイル) (.csv)をインポートして転送設定する場合>	38
	メーリングリストを作成したい	40
	<メーリングリストの設定>	42
	web メールを使用したい	46
	<web メールへのアクセス方法>	46
	スパムフィルターの設定をしたい	51
3.	FTP	53
	FTP アカウントを作成したい	53
	FTP アカウントを削除したい	55
	FTP パスワードを変更したい	56

FTP 容量を変更したい.....	57
FTP 接続情報を確認したい	58
FTP でデータをアップロードしたい.....	59
ディスクの使用量を確認したい.....	59
PHP のバージョンを変更したい.....	61
4. データベース.....	62
データベースを新規に作成したい	62
データベースユーザーを追加したい	63
データベースを削除したい	64
データベースユーザーを削除したい	65
5. ドメイン	66
Web サイトを自動的に https で表示するようにしたい	66
Web サイトにリダイレクト設定をしたい.....	66
6. SSL	71
秘密鍵を作成・アップロードしたい	71
<秘密鍵を新規に作成する場合>	72
<既存の秘密鍵をアップロードする場合>	73
CSR を作成したい.....	74
SSL 証明書・中間証明書をインストールしたい.....	76
SSL を有効化したい	78
7. WordPress	81
WordPress をインストールしたい	81

※ご利用のサーバのバージョンによって、一部機能が異なる場合がございますので、予めご了承くださいませ。現在提供中のサーバは下記になります。

- cpanel01.jpserve.jp
- cpanel02.jpserve.jp

1. コントロールパネルへのログインについて

コントロールパネルへログインしたい

① ブラウザを開きます。

※cPanelをご利用いただく場合に当社が推奨しているブラウザは下記のとおりです。

Google Chrome

Firefox

② ブラウザのアドレスバーに cPanel のコントロールパネル URL を入力し、Enter キーを押します。
URL は下記のとおりです。

<https://cpanel01.jpserve.jp:2083> ※cpanel01.jpserve.jp

<https://cpanel02.jpserve.jp:2083> ※cpanel02.jpserve.jp

※ご契約ドメイン名が不明な場合はご契約時にご案内したログイン情報メールをご参照ください。

例：Google Chrome の場合



例：Firefox の場合



- ③ ユーザー名、パスワード入力画面が表示されますので、ご契約時にメールでご案内したログイン情報に記載されているユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押します。



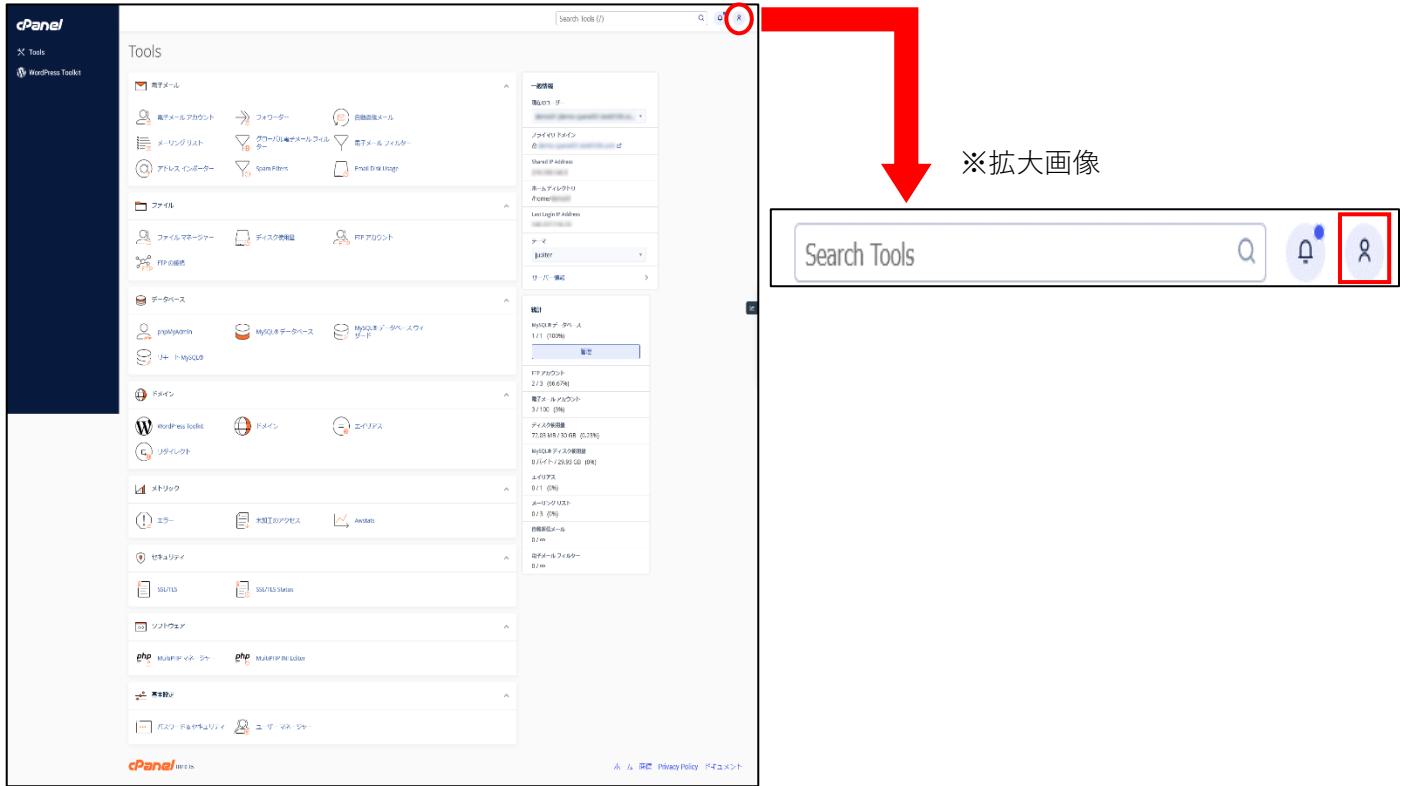
- ④ ログインが成功すると、メインメニュー画面が表示されます。

(参考) JPS スタンダードでご契約の場合

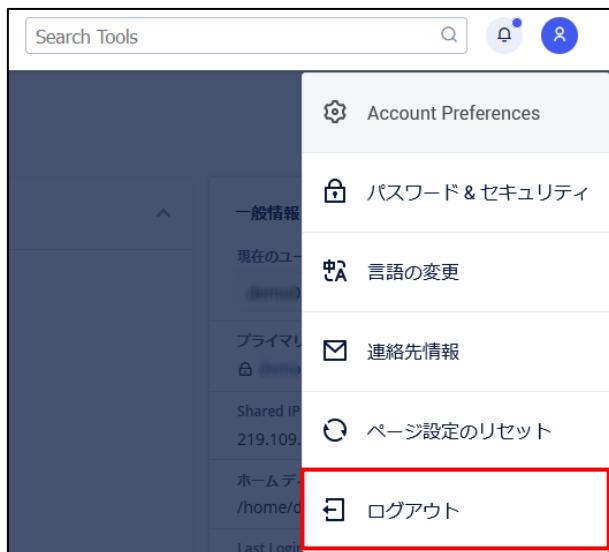
The image shows the main menu of the cPanel interface. On the left, there is a sidebar titled 'Tools' containing various icons for managing email, files, databases, domains, and more. The right side of the screen displays a dashboard with several status boxes. One prominent box on the right is titled '概要' (Overview) which includes information like '現在のユーザー' (Current User), 'プライマリドメイン' (Primary Domain), 'ホームIPアドレス' (Home IP Address), 'Last Login IP Address' (Last Login IP Address), 'サーバー情報' (Server Information), and 'MySQL' (MySQL). Other status boxes include 'FTP' (FTP), 'データベース' (Database), 'ドメイン' (Domain), 'WordPress Toolkit', 'リダイレクト' (Redirect), 'メトリック' (Metrics), 'セキュリティ' (Security), 'SSL/TLS', 'ソフトウェア' (Software), 'php', '基本設定' (Basic Settings), and 'パスワード & セキュリティ' (Passwords & Security). At the bottom, there is a footer with links to 'ホーム', '商標', 'Privacy Policy', and 'ドキュメント'.

コントロールパネルからログアウトしたい

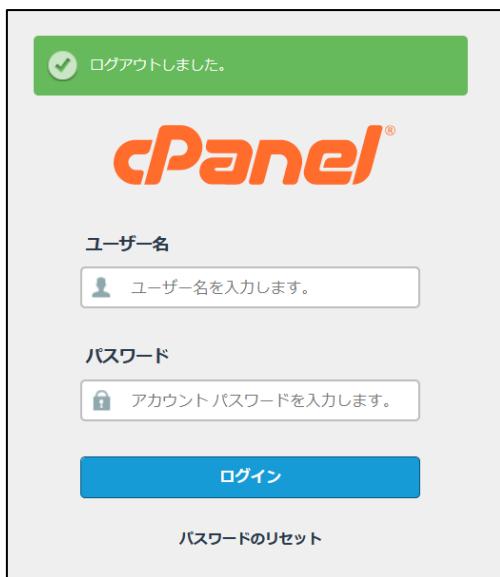
1. コントロールパネル右上の、「User Menu」アイコンをクリックします。



2. 「ログアウト」をクリックします。



3. コントロールパネルからログアウトされ、ログイン画面に戻ります。



コントロールパネルのテーマを変更したい

1. コントロールパネル右側の、一般情報のテーマ欄のプルダウンボタンをクリックします。

A screenshot of the cPanel Tools section. On the left, there are three main categories: "Tools" (with sub-options like Email, File, and Database), "File Manager" (with sub-options like FileManager, Disk Usage, and FTP Accounts), and "Database" (with sub-options like phpMyAdmin, MySQL Database, and Remote MySQL). On the right, there is a sidebar titled "一般情報" (General Information) containing fields for "現在のユーザー" (Current User), "プライマリドメイン" (Primary Domain), "Shared IP Address", "ホームディレクトリ" (Home Directory), "Last Login IP Address", and a "テーマ" (Theme) dropdown menu which is currently set to "jupiter" and highlighted with a red box. Below this is a "サーバー情報" (Server Information) section and a "統計" (Statistics) section showing an alias usage of 1/1 (100%).

2. 変更したいテーマを選択します。

「jupiter」または、旧テーマ「paper_lantern」

※弊社では、推奨テーマ「jupiter」でのご利用をお勧めいたします。

※旧テーマの「paper_lantern」については、ベンダーから提供終了予定されており、いずれコントロールパネル上からも選択ができなくなる予定となります。お早めに「jupiter」テーマでのご利用へお切替をお願いいたします。

The screenshot shows the 'Tools' interface with a sidebar containing sections for Email, File, Database, and Domains. On the right, there is a 'General Information' panel and a 'Theme' panel. The 'Theme' panel lists 'jupiter' and 'paper_lantern' as options, with 'jupiter' selected. A red box highlights the theme selection dropdown.

3. 選択したテーマに変更されます。

(例) 「paper_lantern」を選択した場合

The screenshot shows the same 'Tools' interface after switching to the 'paper_lantern' theme. The 'Theme' dropdown in the sidebar has been changed to 'paper_lantern'. The 'Theme' panel on the right also shows 'paper_lantern' as the selected theme. The overall appearance of the interface has changed to match the 'paper_lantern' theme.

コントロールパネルの表示言語を変更したい

- デフォルトの表示言語が英語になっている場合があります。変更する場合は、右下の…からロケールの選択画面を開きます。



※仕様上、すべての項目が日本語に翻訳されているわけではありませんので、予めご了承くださいませ。

- 希望の言語を選択ください。



- 表示言語が変更されます。



コントロールパネルへのログインユーザー名を忘れた

ログインユーザー名をお忘れの場合は、ご本人様確認の上、弊社より初期ログイン情報をメールで再度ご案内いたします。お手数ですが、以下情報を明記の上、お問合せフォームよりご連絡ください。

<必要事項>

- ・ご契約者名
- ・ご登録住所
- ・ご登録電話番号
- ・ご契約ドメイン名

コントロールパネルへのログインパスワードを忘れた

ログインパスワードをお忘れの場合は、弊社にてパスワードをリセットし、メールでご案内いたしますので、**コントロールパネルログイン画面の「パスワードのリセット」のリンクではリセットを行わないようにお願いいたします。**

お手数ですが、以下情報を明記の上、メールまたはお問合せフォームでご連絡ください。

<必要事項>

- ・ご契約者名
- ・ご登録住所
- ・ご登録電話番号
- ・ご契約ドメイン名

<お問合せ先> manzoku@speedia.co.jp 宛

なお、弊社にてログインパスワードをリセットしますと、下記パスワードも同時にリセットされます。初期パスワードから変更されている場合には、リセット後に改めてお客様にて再設定をお願いいたします。

- ・特別な ftp アカウント
- ・既定の電子メールアカウント（注＊）

注＊ 「既定の電子メールアカウント」は、「電子メールアカウント」→「既定値」と表示されているアカウントのパスワードを表しています。

お客様がコントロールパネルで発行された各メールアカウントのパスワードは変更されません。

各メールアカウントのパスワードを変更したい場合は【メールアドレスのパスワードを変更したい】をご参照下さい。

コントロールパネルのログインパスワードを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「パスワード＆セキュリティ」をクリックします。



2. 変更画面が表示されます。

パスワードの変更

以下のアカウントパスワードを変更します。Web ホスティングではパスワードの強度は重要です。パスワード生成ツールを使用してパスワードを作成することをお勧めします。以下のヒントに従ってパスワードの安全性を確保してください。

注記: パスワードを変更する場合は、現在のセッションを終了します。

古いパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(再入力):

強度(理由)

非常に弱い(0/100)

パスワード生成ツール

ダイジェスト認証を有効にする ? ← チェック不要

今すぐパスワードを変更してください。

パスワードを保護します:

パスワードは書き留めずに記憶してください。特に、書き留めたパスワードを放置したり、暗号化されていないファイルに保存したりしないでください。異なる組織によって管理されるシステムには、それぞれ関係のないパスワードを使用してください。パスワードは誰にも教えないでください。特に、コンピューター サポートまたはベンダーを名乗る人物には、その身分を確認できない限り、パスワードを教えないでください。パスワードを入力するところを誰にも見られないようにしてください。信頼できないコンピューターでパスワードを入力しないでください。パスワードには期限を設けて、定期的に変更してください。

推測されにくいパスワードを選択してください:

- 特に安全でないパスワードは禁止されていますが、それを完全に信頼できるわけではありません。
- 辞書に載っている語、名前、または個人情報(誕生日や電話番号など)は使用しないでください。
- 単純なパターンは避けください。代わりに、大文字、小文字、数字、記号を使用してください。パスワードの長さが 8 文字以上であることを確認してください。
- 新しいパスワードを選択する場合、以前のパスワードに関連していないことを確認してください。

・ 古いパスワード…現在のパスワードを入力してください。

・ 新しいパスワード…変更後のパスワードを入力してください。

※パスワードの長さは 6 文字以上、強度は 50 以上である必要があります。

※パスワードはパスワード生成ツールでランダム文字列のパスワードを生成することも可能です。

※ドメイン名と同じあるいは一部文字列、辞書に掲載されている英単語等は避けいただき、推測されにくいランダムな文字列を組み合わせたパスワード設定を推奨いたします。

・ 新しいパスワード(再入力)…上記で入力したパスワードと同じものを再入力してください。

- ・ダイジェスト認証を有効にする…チェックを入れないでください。
3. 入力が完了したら、「今すぐパスワードを変更してください」をクリックします。
「成功しました。ブラウザーをリダイレクトしています」と表示され、cPanel ログイン画面が再表示されればログインパスワードの変更完了です。

成功しました。ブラウザーをリダイレクトしています…

※ここでパスワードの変更を行うと、下記パスワードも同時に変更されますので、ご注意ください。

- ・特別な ftp アカウント
- ・既定の電子メールアカウント（注＊）

注＊ 「既定の電子メールアカウント」は、「電子メールアカウント」→「既定値」と表示されているアカウントのパスワードを表しています。

お客様がコントロールパネルで発行された各メールアカウントのパスワードは変更されません。

各メールアカウントのパスワードを変更したい場合は【メールアドレスのパスワードを変更したい】をご参照下さい。

サーバ情報確認

-
1. コントロールパネルへログインし、「サーバー情報」をクリックします。

一般情報

現在のユーザー

プライマリ ドメイン

Shared IP Address

ホームディレクトリ

Last Login IP Address

テーマ

jupiter

サーバー情報

2. サーバ情報が表示され、サーバ名（cpanel01/cpanel02）の確認や、各種バージョンの確認ができます。

サーバー情報	
アイテム	詳細
ホスティングパッケージ	[...]
サーバー名	cpanel02
cPanel バージョン	102.0 (build 24)
Apache バージョン	2.4.54
PHP バージョン	7.4.32
MySQL バージョン	8.0.31
アーキテクチャ	x86_64
オペレーティングシステム	linux
共有 IP アドレス	[...]
sendmail のパス	/usr/sbin/sendmail
Perl のパス	/usr/bin/perl
Perl バージョン	5.26.3
カーネルバージョン	4.18.0-372.26.1.el8_6.x86_64

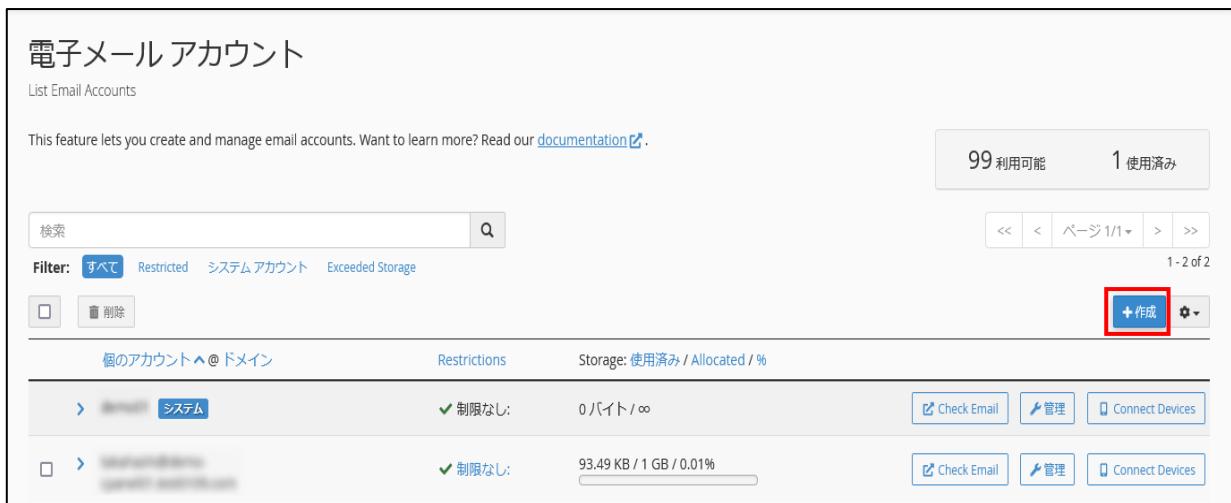
2. メール

メールアドレスを作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. 「作成」をクリックします。



3. メールアカウント作成画面が表示されます。

電子メールアカウント

[List Email Accounts](#) / [Create an Email Account](#)

Use this page to create new email addresses for any of the domains on your cPanel account. Want to learn more? Read our [documentation](#).

CREATE AN EMAIL ACCOUNT

Show/Hide Help

ユーザー名

Enter your email address's username here.

@

[Missing a domain?](#)

パスワードの入力



生成



Optional Settings

Edit Settings

Stay on this page after I click Create.

+ 作成

戻る

99 利用可能

1 使用済み

MISSING A DOMAIN?

Aliases let you point a domain towards another of your domains' content.

[Manage Aliases](#)

NEED HELP?

[About This Interface](#)

- ユーザー名…メールアドレスの@以前を入力します。

メールアドレス文字数：1~64 文字まで

メールアドレスパスワード：6 文字以上

使用可能文字列：アルファベット・(ドット)ピリオド・ハイフン・アンダースコア

- パスワード…メールアカウントのパスワードを設定します。パスワードは 6 文字以上、

 のマークをクリックすると、入力したパスワードを確認することができます。



※パスワード生成について

「生成」からランダムなパスワードを自動で作ることも可能です。▼をクリックすると、パスワード生成の際の詳細オプションを設定することができます。
生成されるパスワードは、自動的に 10 文字以上となります。

- Optional Settings…右の「Edit Settings」をクリックいただくと、追加オプションメニューが開きます。

CREATE AN EMAIL ACCOUNT Show/Hide Help

ユーザー名 ?
 @

[Missing a domain?](#)

Optional Settings Reset Settings

Storage Space ?
 1024 無制限

Automatically Create Folders for Plus Addressing ?
 Automatically Create Folders Do Not Automatically Create Folders

Send a welcome email with instructions to set up a mail client.

Stay on this page after I click *Create*.

+ 作成 戻る

- Storage Space…メールアカウントのメールボックスの容量を設定できます。デフォルトでは1024MBになっています。「無制限」を選択する事も可能ですが、無制限でのご利用はスパムメールなどでドメイン全体の容量不足が発生しやすくなりますので、推奨しておりません。ご利用の際はご注意下さい。
- Automatically Create Folders for Plus Addressing…メールアカウントを作成した際に、自動的にメールのディレクトリを作成するかを選択します。「Automatically Create Folders」を選択してください。
- Send a welcome email with instructions to set up a mail client…チェックを入れると、メール設定情報が新規作成したメールアドレス宛に送信されます。最初にメールアドレスを作成する際にはチェックを入れていただく事をお勧めいたします。
なお、送信されるメールの件名は下記になります。
件名：[ドメイン名] Client configuration settings for “作成したメールアドレス”

- Stay on this page after I click Create. … チェックを入れると、メールアカウント作成後もこのページに留まったままになります。メールアドレスを連続で作成する際にチェックを入れてください。

上記必要情報を入力後、「作成」をクリックします。

- 電子メールアカウント一覧に、作成したアカウントが追加されていることを確認してください。

アカウント	制限なし:	Storage: 使用済み / Allocated / %	操作
システム	0バイト / ∞	<input checked="" type="checkbox"/> Check Email <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	
user1@domain.com	0バイト / 1 GB / 0%	<input type="checkbox"/> Check Email <input checked="" type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	
user2@domain.com	93.49 KB / 1 GB / 0.01%	<input type="checkbox"/> Check Email <input checked="" type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	

※スパム配信防止の為、一定時間内に送信失敗数が既定回数を超えるとアカウントにロックがかかり、一時的にメール送信が不可となります。既定回数を下回った場合には自動解除となります。
※特定 IP アドレスから一定時間内に規定回数を超えて接続失敗すると、該当の接続元 IP アドレスを遮断します。既定時間経過後に自動解除されます。

メールアドレスを一括で作成したい

<Excel ファイル (.xls)をインポートして作成する場合>

- 一括作成用の Excel ファイル (.xls)を作成します。

- ① 1行目に「Email」、「Password」、「Quota」を入力します。
- ② 「Email」に作成するメールアドレス、「Password」にメールアカウントのパスワード、「Quota」にメールアカウントのメールボックスの容量（単位：MB）を入力します。

例

	A	B	C	D
1	Email	Password	Quota	
2	jill@domain.com	qurd9bDRwJvH	1024	
3	bill@domain.com	seMPeB55eqG5	1024	
4	phil@domain.com	uDJV7uc9UbXA	1024	
5				

2. コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「電子メールアカウント」を選択します。

「参照」をクリックし、1で作成した Excel ファイル (.xls) を選択後、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メールアドレスや電子メール フォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excel スプレッドシートファイル (.xls) またはコンマ区切り値シート (CSV ファイル) (.csv) を使用できます。CSV ファイルは、.csv 拡張子が付いているブレーンテキストファイルです。

CSV または Excel ファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか?[ページ例](#)を確認してください。

手順 1: インポート対象を選択します。

電子メール アカウント

フォワーダー

手順 2: コンピューター上の CSV または XLS ファイルを見つけます。

参照... example_email.xls

手順 3

最初の行が列ヘッダーとして処理されます。

次へ

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

電子メールアカウントのインポート

手順1

表の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Email	Password	Quota (MB)
[REDACTED]	[REDACTED]	1024
[REDACTED]	[REDACTED]	1024
[REDACTED]	[REDACTED]	1024

手順2

リストのユーザーのドメインを選択します。注記: 電子メールアドレスの代わりにユーザー名のリストが列に含まれる場合は、追加リストが表示されます。

ドメイン

[REDACTED]

次へ

戻る

5. Excelファイル(.xls)からインポートする内容が表示されます。

「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

電子メールアカウントのインポート

次の電子メールアカウントを確認してください。

電子メールアドレス	パスワード	クオータ(MB)
[REDACTED]	[REDACTED]	1024
[REDACTED]	[REDACTED]	1024
[REDACTED]	[REDACTED]	1024

終了

6. インポートが完了します。続けて作成したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。

アドレスインポーター

インポートを実行しています。しばらくお待ちください。

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

その他をインポート

<CSV ファイル（コンマ区切り値ファイル）(.csv)をインポートして作成する場合>

1. 一括作成用の CSV ファイル（コンマ区切り値ファイル）(.csv)を作成します。
 - ① 1 行目に「Email」、「Password」、「Quota」を入力します。
 - ② 「Email」に作成するメールアドレス、「Password」にメールアカウントのパスワード、「Quota」にメールアカウントのメールボックスの容量（単位：MB）を入力します。

例

	A	B	C	D
1	Email	Password	Quota	
2	jill@domain.com	qurd9bDRwJvH	1024	
3	bill@domain.com	seMPeB55eqG5	1024	
4	phil@domain.com	uDJV7uc9UbXA	1024	
5				

2. コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「電子メールアカウント」を選択します。
「参照」をクリックし、1 で作成した CSV ファイル(.csv)を選択後、
区切り記号に「コンマ (,)」を選択し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メール アドレスや電子メール フォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excel スプレッドシート ファイル (.xls) またはコンマ区切り値シート (CSV ファイル) (.csv) を使用できます。CSV ファイルは、.csv 拡張子が付いているブレーンテキスト ファイルです。

 CSV または Excel ファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか? [ページ例](#) を確認してください。

手順 1: インポート対象を選択します。

電子メール アカウント

フォワーダー

手順 2: コンピューター上の CSV または XLS ファイルを見つけます。

 参照... example_fwd.csv

手順 3

区切り記号の選択

コンマ (,)

スペース

セミコロン (;)

タブ

その他 □

最初の行が列ヘッダーとして処理されます。

 次へ

- 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

電子メールアカウントのインポート

手順 1

表の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Email	Password	Quota (MB)
[Redacted]	[Redacted]	1024
[Redacted]	[Redacted]	1024
[Redacted]	[Redacted]	1024

手順 2

リストのユーザーのドメインを選択します。注記: 電子メール アドレスの代わりにユーザー名のリストが列に含まれる場合は、追加リストが表示されます。

ドメイン



 次へ

 戻る

- CSV ファイル(.csv)からインポートする内容が表示されます。

「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

電子メールアカウントのインポート

次の電子メールアカウントを確認してください。

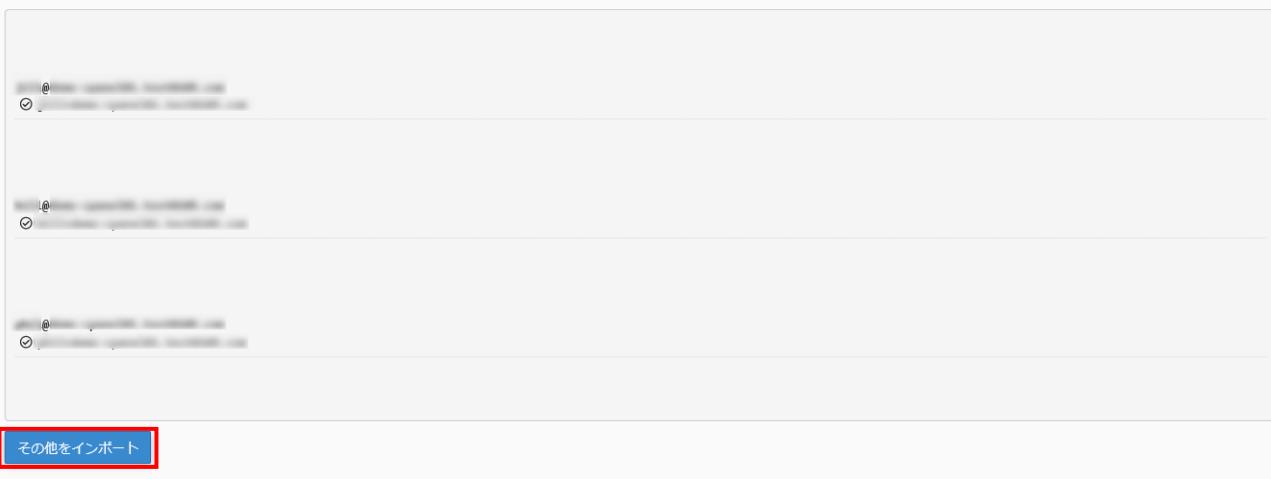
電子メールアドレス	パスワード	クォータ(MB)
[REDACTED]	[REDACTED]	1024
[REDACTED]	[REDACTED]	1024
[REDACTED]	[REDACTED]	1024

終了

- インポートが完了します。続けて作成したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。

アドレスインポーター

インポートを実行しています。しばらくお待ちください。



メールアカウントを削除したい

- コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



- メールアカウントの一覧から、削除したいメールアカウント左のチェックボックスにチェックを入れ、上の「削除」をクリックします。

※複数選択することで、複数削除も可能です。

電子メールアカウント

List Email Accounts

This feature lets you create and manage email accounts. Want to learn more? Read our [documentation](#).

98 利用可能

2 使用済み

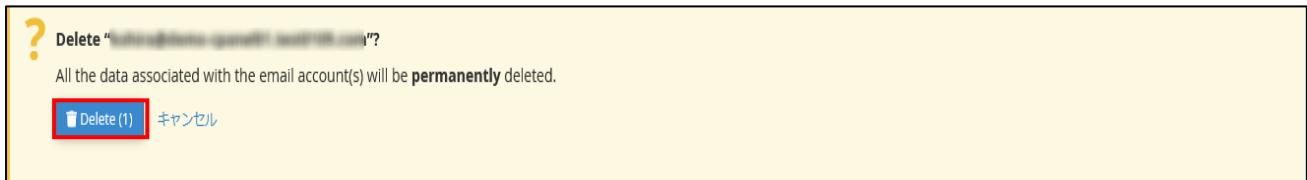
検索

Filter: すべて Restricted システム アカウント Exceeded Storage

98 利用可能 2 使用済み
<< < ページ 1/1 > >>
1 - 3 of 3

個のアカウント ▾ @ ドメイン	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %	操作
> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/> システム	✓ 制限なし: 0 バイト / ∞	<input type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> > <input type="radio"/> xxxxxxxxxxxxx@gmail.com <input type="radio"/> xxxxxxxxxxxxx@gmail.com	✓ 制限なし: 0 バイト / 1 GB / 0%	<input type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	
<input type="checkbox"/> > <input type="radio"/> xxxxxxxxxxxxx@gmail.com <input type="radio"/> xxxxxxxxxxxxx@gmail.com	✓ 制限なし: 93.49 KB / 1 GB / 0.01%	<input type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	

3. 削除をクリックすると、上に確認画面が表示されますので、メールアカウントを確認の上、間違いがなければ「DELETE」をクリックします。「DELETE」の後ろの括弧内の数字は削除対象のメールアカウント個数です。



※電子メールアカウントを削除すると、サーバー上のメールボックスも削除されます。削除後の復旧は出来かねますので、操作時は十分にご注意下さい。

4. 電子メールアカウント一覧から、アカウントが削除されていることを確認してください

電子メールアカウント

List Email Accounts

This feature lets you create and manage email accounts. Want to learn more? Read our [documentation](#).

99 利用可能

1 使用済み

検索

Filter: すべて Restricted システム アカウント Exceeded Storage

99 利用可能 1 使用済み
<< < ページ 1/1 > >>
1 - 2 of 2

個のアカウント ▾ @ ドメイン	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %	操作
> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/> システム	✓ 制限なし: 0 バイト / ∞	<input type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	
<input type="checkbox"/> > <input type="radio"/> xxxxxxxxxxxxx@gmail.com <input type="radio"/> xxxxxxxxxxxxx@gmail.com	✓ 制限なし: 93.49 KB / 1 GB / 0.01%	<input type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>	

メールアドレスのパスワードを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から右の「管理」をクリックします。

This screenshot shows a list of email accounts. At the top right, there are statistics: 99 available and 1 used. Below is a search bar and filter options (Restricted, System Account, Exceeded Storage). The main table lists accounts with columns for restrictions and storage usage. The 'Management' button for the second account is highlighted with a red box.

個々のアカウント @ ドメイン	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %
システム	✓ 制限なし: 0バイト / ∞	Check Email 管理 Connect Devices
...	✓ 制限なし: 93.49 KB / 1 GB / 0.01%	Check Email 管理 Connect Devices

3. 「新しいパスワード」に変更後のパスワードを入力します。パスワードは 6 文字以上、強度が 50

以上でなくてはなりません。 のマークをクリックすると、入力したパスワードを確認することができます。



※パスワード生成について

「生成」からランダムなパスワードを自動で作ることも可能です。▼をクリックすると、パスワード生成の際の詳細オプションを設定することができます。生成されるパスワードは、自動的に 10 文字以上となります。

電子メール アカウント
List Email Accounts / Manage an Email Account

Use this page to manage your email accounts. Want to learn more? Read our documentation [documentation](#).

MANAGE AN EMAIL ACCOUNT SHOW/HIDE HELP [?](#)

Email Account
[Check Email](#)

セキュリティ

新しいパスワード
パスワードの入力 [生成](#) [?](#)

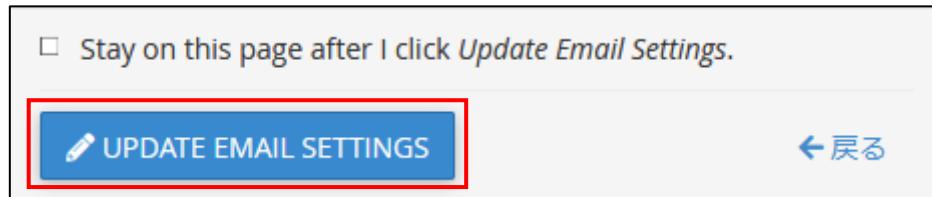
I WANT TO ...

- Free up Email Storage
- Manage Email Filters
- Send Automated Responses

構成

Connect Devices

4. 新しいパスワードを入力したら、画面下部の「Update Email Settings」をクリックします。



メールソフトへの設定情報を確認したい

<WEB メールから確認する方法>

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から右の「CHECK EMAIL」をクリックし、Web メールを開きます。

電子メール アカウント

List Email Accounts

This feature lets you create and manage email accounts. Want to learn more? Read our [documentation](#).

99 利用可能		1 使用済み
検索	<input type="button" value="検索"/>	<< < ページ 1/1 > >>
Filter: すべて Restricted システム アカウント Exceeded Storage		
<input type="checkbox"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="+ 作成"/>	<input type="button" value="設定"/>
個のアカウント @ ドメイン		
▶ <input type="checkbox"/> システム	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %
▶ <input type="checkbox"/> [redacted]	✓ 制限なし: 0 バイト / ∞	<input type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>
▶ <input type="checkbox"/> [redacted]	✓ 制限なし: 93.49 KB / 1 GB / 0.01%	<input style="border: 2px solid red;" type="button" value="Check Email"/> <input type="button" value="管理"/> <input type="button" value="Connect Devices"/>

なお、コントロールを介さずに web メールの URL (<https://ドメイン名:2096>) をブラウザのアドレスバーに直接入力してアクセスする事も可能です。web メールについては<web メールへのアクセス方法>をご参照下さい

3. web メールの左メニューから「Webmail Home」をクリックします。
(右図は roundcube の場合です。Web メールクライアントは roundcube を推奨しております。こちらの画面が表示されず、直接 Web メールの管理メニューが表示される場合があります。その場合は本手順をスキップし、4.へお進みください)



4. Web メールの管理メニューから、「Configure Mail Client」をクリックします。

Manage Your Inbox

Autoresponders
Are you going on vacation? Use this feature to configure your automated emails.

Email Filters
Create and manage email filters for your main email account.

Forwarders
Automatically send a copy of any incoming email from this email address to another.

Edit Your Settings

Password & Security
Update your webmail password.

Contact Information
Set up a different email address to receive account notifications and password reset confirmations.

Account Preferences
Change your Webmail account settings.

Fight Spam

Other Webmail Features

Configure Mail Client
Set up your email account on any device.

Manage Disk Usage
Delete old messages from your mailbox. Recover disk space. It's that simple.

Mailing Lists
Create and manage email filters for your main email account.

5. メール設定情報が表示されます。

なお、メールアドレスの個別のパスワードはセキュリティ上、表示されない仕様となっております。万一、メールアドレスのパスワードを忘れた場合は<メールアドレスのパスワードを変更したい>を参照の上、新しいパスワードを再設定してください。

Mail Client Manual Settings

If you do not see an auto-configuration script for your client in the list above, you can manually configure your mail client using the settings below. We recommend that you use [IMAP](#) and [SMTP](#) for your email account rather than ActiveSync unless you are on Android and need calendar and contacts support or push updates.

Secure SSL/TLS Settings (推奨)

ユーザー名: [REDACTED]
パスワード: 電子メール アカウントの/パスワードを使用します。
受信サーバー: mail. [REDACTED] IMAP Port: 993 POP3 Port: 995
送信サーバー: mail. [REDACTED] SMTP Port: 465
IMAP, POP3, SMTP requires authentication.

Non-SSL Settings (NOT Recommended)

ユーザー名: [REDACTED]
パスワード: 電子メール アカウントの/パスワードを使用します。
受信サーバー: mail. [REDACTED] IMAP Port: 143 POP3 Port: 110
送信サーバー: mail. [REDACTED] SMTP Port: 587
IMAP, POP3, SMTP requires authentication.

<コントロールパネルから確認する方法>

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から右の「Connect Devices」をクリックします。

The screenshot shows the 'List Email Accounts' page. It displays two accounts. The first account has a 'Connect Devices' button. The second account, which is highlighted with a red box, also has a 'Connect Devices' button. Other visible buttons include 'Check Email', 'Management', and 'Delete'.

個のアカウント	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %	Action Buttons
システム	✓ 制限なし: 0バイト / ∞		Check Email 管理 Connect Devices
システム	✓ 制限なし: 93.49 KB / 1 GB / 0.01%		Check Email 管理 Connect Devices

3. 「Mail Client Automatic Configuration Scripts」に、メール設定情報が表示されます。

“”のメールクライアントを設定します。

“iOS for iPhone/iPad/iPod and MacOS® Mail.app®”などのデスクトップ電子メール アプリケーションを使用して電子メールアカウントにアクセスする場合は、電子メール アプリケーションに特定の電子メールアカウント情報を入力する必要があります。以下の自動構成オプションを使用することで、電子メール アプリケーションを自動的に構成できる場合があります。それらの利用可能なオプションご使用のアプリケーションとの間に互換性がない場合は、手動設定情報を使用する必要があります。

Mail Client Automatic Configuration Scripts

Listed below are the available mail client automatic configuration scripts. Select the script for your mail client and operating system.

アプリケーション	プロトコル
Windows Live Mail®	IMAP over SSL/TLS POP3 over SSL/TLS IMAP POP3 (Post Office Protocol v3)
iOS for iPhone/iPad/iPod and MacOS® Mail.app®	IMAP over SSL/TLS IMAP

Mail Client Manual Settings

If you do not see an auto-configuration script for your client in the list above, you can manually configure your mail client using the settings below. We recommend that you use IMAP and SMTP for your email account rather than ActiveSync unless you are on Android and need calendar and contacts support or push updates.

Secure SSL/TLS Settings (推奨)

ユーザー名: [REDACTED]
パスワード: 電子メールアカウントのパスワードを使用します。
受信サーバー: mail. [REDACTED] IMAP Port: 993 POP3 Port: 995
送信サーバー: mail. [REDACTED] SMTP Port: 465
IMAP、POP3、SMTP requires authentication.

Hide Non SSL/TLS Settings ▾

Non-SSL Settings (NOT Recommended)

ユーザー名: [REDACTED]
パスワード: 電子メールアカウントのパスワードを使用します。
受信サーバー: mail. [REDACTED] IMAP Port: 143 POP3 Port: 110
送信サーバー: mail. [REDACTED] SMTP Port: 587
IMAP、POP3、SMTP requires authentication.

Email Instructions

Send configuration information for “” to the following email address:

注記:

- ・サーバーとメール アプリケーションの間で、IMAP 電子メール アクセスが調整されます。既読、削除済み、または返信済みのメッセージは、サーバーおよびメール アプリケーションの両方でそのように表示されます。
- ・POP3 は、サーバーに合わせて調整されません。メール アプリケーションで既読、削除済み、または返信済みのマークが付けられているメッセージは、サーバー上ではそのように表示されません。つまり、今後 POP3 を使用してメールをダウンロードすると、すべてのメッセージが未読として表示されます。
- ・送信メールは SMTP を使用して送信されます。
- ・リモートメール サーバーとのやり取りをより安全に行うために、POP3 over SSL/TLS または IMAP over SSL/TLS を使用することをお勧めします。

メールボックスの容量を確認・変更したい

サーバの仕様として、メールボックスがいっぱいになるとメール受信のみならず、送信も不可となる場合があります。メールボックスの容量を空けていただいた上で送受信をするか、容量がいっぱいにならないよう、アカウントのクオータの上限を変更いただくことをご検討下さい。

また、ユーザ様がメールソフト(POP3)をご利用で「サーバにコピーを置く」設定をしている場合は、削除日数も併せて指定の上、送受信動作を実施下さいませ。

Web メールのみご利用の場合には、Web メール上でご不要なメールを削除し、空き容量を確保してご利用いただくようお願いいたします。

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧が表示されます。各アカウントの容量は「Storage」をご確認下さい。

個のアカウント @ ドメイン	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %
> [redacted] システム	✓ 制限なし:	0 バイト / ∞
□ > [redacted]	✓ 制限なし:	93.49 KB / 1 GB / 0.01%

- ・使用済み：現在の使用中の容量です。
- ・Allocated：該当メールアドレスの割り当て上限容量です。
- ・%：割り当て容量に対する使用率です。

3. 容量を変更する場合は、該当メールアカウント右の「管理」をクリックします。

4. 「STRAGE」の「Allocated Storage Space」に希望の容量を入力し、単位を選択するか、「無制限」を選択します。「無制限」を選択する事も可能ですが、無制限でのご利用はスパムメールなどでドメイン全体の容量不足が発生しやすくなりますので、推奨しておりません。ご利用の際はご注意下さい。

STORAGE

Current Storage Usage
93.49 KB / 1 GB 0.01%

Allocated Storage Space [?](#)

2048 MB

無制限

Stay on this page after I click *Update Email Settings*.

UPDATE EMAIL SETTINGS

[← 戻る](#)

5. メールアカウント一覧画面から、設定した容量に変更されていることを確認します。

電子郵件アカウント

List Email Accounts

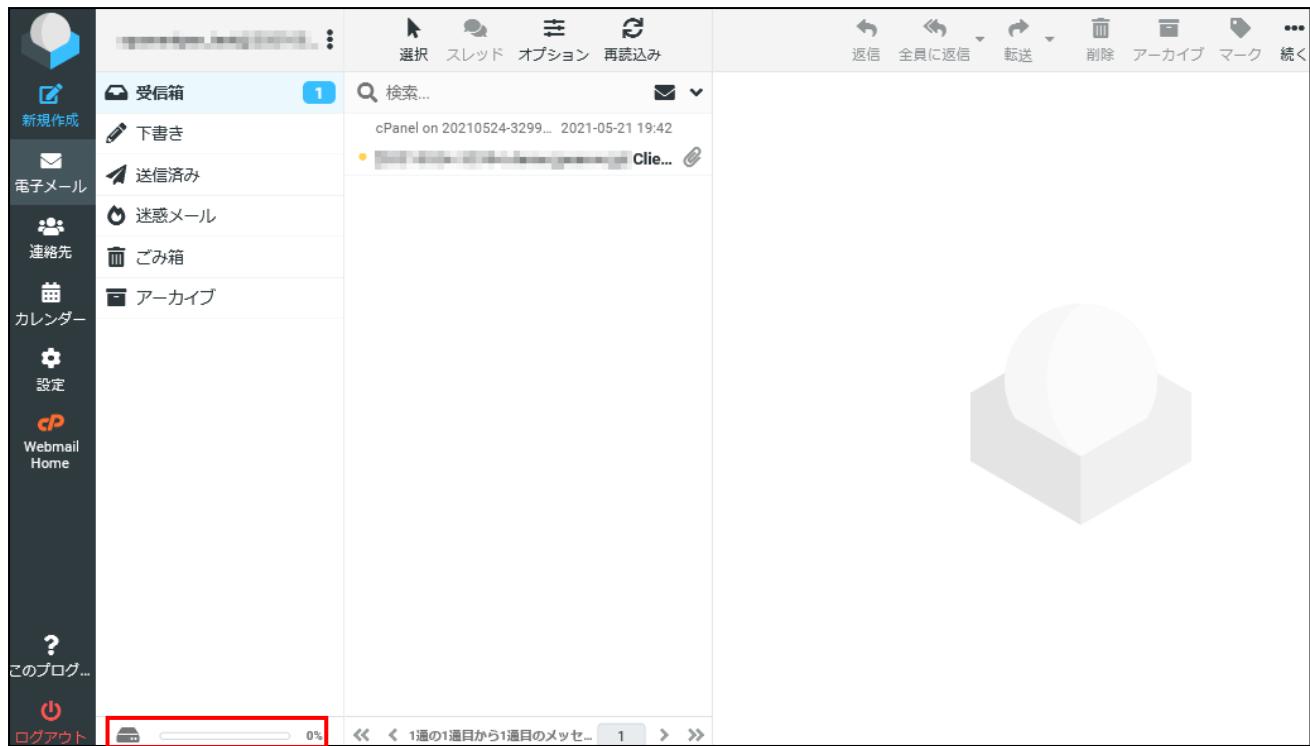
This feature lets you create and manage email accounts. Want to learn more? Read our [documentation](#).

個のアカウント @ ドメイン	Restrictions	Storage: 使用済み ^ / Allocated / %
> [redacted] システム	✓ 制限なし:	0バイト / ∞
□ > [redacted]	✓ 制限なし:	93.49 KB / 2 GB / 0%

<Web メールから容量確認を行う場合>

1. Web メールにログインし左下部より確認可能です。

※Web メールへのアクセス方法については、「Web メールを使用したい」をご参照ください。



メールを別のメールアドレスへ転送したい

<転送元アドレスでもメールを受信したい（転送元にもメールを残す）場合>

1. コントロールパネルへログインし、「フォワーダー」をクリックします。



2. 「フォワーダーの追加」をクリックします。

フォワーダー

管理中
すべてのドメイン

電子メール アカウント フォワーダーの作成

フォワーダーの追加

- 必要事項を入力し、「フォワーダーの追加」をクリックします。

新しいフォワーダーの追加

アドレス

転送先アドレス:
 @

ドメイン

保存先

電子メール アドレスに転送
 (SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。
失敗メッセージ (送信者に表示)
このアドレスには、該当する人物はいません。

詳細オプション ▾

フォワーダーの追加

- 転送先アドレス… 「転送先アドレス」と記載がありますが、誤訳です。
実際には【転送元アドレス】になります。転送元アドレスの@以前を入力してください。
例) test@ドメイン名に届いたメールを転送したい場合は test と入力します。
※転送元アドレスにメール残さない設定を行いたい場合は、<転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい（転送元にメールを残さない）場合>をご参照ください。
- ドメイン…転送元アドレスになるお客様の独自ドメイン名を選択してください。
(～.pre.jpserve.jp は使用不可)

- ・電子メールアドレスに転送…他のアドレスにメールを転送します。転送先の電子メールアドレスを入力してください。「転送先アドレス」で受信したメールは、こちらで入力したメールアドレスへ転送されます。
別のメールアドレスに転送したい場合、転送先のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスに転送したい場合は、半角カンマ区切りでアドレスを入力ください。(例：aaa@**.com,bbb@**.jp)
- ・(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。…メールを転送せず、メール送信元にエラーメッセージを返します。
- ・失敗メッセージ(送信者に表示)…上記を選択した際に、メール送信元に返すエラーメッセージを設定します。
- ・「詳細オプション」については、お客様にて任意で設定してください。

4. 入力が完了したら、「フォワーダーの追加」をクリックします。

新しいフォワーダーの追加

アドレス

転送先アドレス:

ドメイン

保存先

電子メールアドレスに転送

(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。

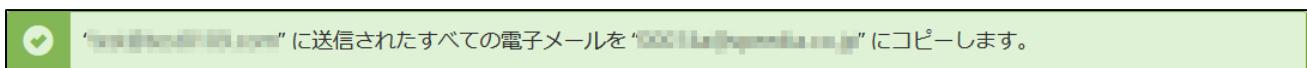
失敗メッセージ(送信者に表示)

このアドレスには、該当する人物はいません。

詳細オプション ▾

フォワーダーの追加

5. 「転送元メールアドレス」に送信されたすべての電子メールを「転送先メールアドレス」にコピーします。と表示され、転送設定一覧に表示されたら、設定完了です。
6. 複数のメールアカウントを登録した場合は、それぞれのアカウントごとにフォワーダーが作成されます。



電子メール アドレス	転送先	アクション
test-test_mailing_box@speedia.co.jp	test_mailing_box@speedia.co.jp	検索 削除
new-new_mailing_box@speedia.co.jp	new_mailing_box@speedia.co.jp	検索 削除
test@speedia.co.jp	test@speedia.co.jp	検索 削除

<転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい（転送元にメールを残さない）場合>

1. コントロールパネルへログインし、「フォワーダー」をクリックします。



2. 「フォワーダーの追加」をクリックします。



3. 必要事項を入力し、「フォワーダーの追加」をクリックします。

新しいフォワーダーの追加

アドレス

転送先アドレス:
[Redacted]

ドメイン
[Redacted]

保存先

電子メールアドレスに転送

(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。
失敗メッセージ(送信者に表示)
このアドレスには、該当する人物はいません。

詳細オプション ▾

フォワーダーの追加

- ・転送先アドレス… 「転送先アドレス」と記載がありますが、誤訳です。

実際には **【転送元アドレス】** になります。転送元アドレスの@以前を入力してください。転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい場合は、メールアカウントを作成していないアカウントを入力してください。

例) test@ドメイン名に届いたメールを転送したい場合は、test@ドメイン名のアカウントを、「電子メールアカウント」から作成していない状態で、testと入力します。

※転送元アドレスにメール残す設定を行いたい場合は、**<転送元アドレスでもメールを受信したい(転送元にもメールを残す)場合>**をご参照ください。

- ・ドメイン…転送元アドレスになるお客様の独自ドメイン名を選択してください。

(～.pre.jpserve.jp は使用不可)

- ・電子メールアドレスに転送…別のメールアドレスに転送したい場合、転送先のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスに転送したい場合は、半角カンマ区切りでアドレスを入力ください。(例：aaa@**.com,bbb@**.jp)

- ・(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。…メールを転送せず、メール送信元にエラーメッセージを返します。

- ・失敗メッセージ(送信者に表示)…上記を選択した際に、メール送信元に返すエラーメッセージを設定します。

- ・「詳細オプション」については、お客様にて任意で設定してください。
4. 入力が完了したら、「フォワーダーの追加」をクリックします。

新しいフォワーダーの追加

アドレス

転送先アドレス:

ドメイン

保存先

電子メール アドレスに転送

(SMTP 時間で) 破棄し、エラーを送信者に送信します。
失敗メッセージ (送信者に表示)

このアドレスには、該当する人物はいません。

詳細オプション ▾

フォワーダーの追加

5. 「転送元メールアドレス」に送信されたすべての電子メールを「転送先メールアドレス」にコピーします。と表示され、転送設定一覧に表示されたら、設定完了です。
複数のメールアカウントを登録した場合は、それぞれのアカウントごとにフォワーダーが作成されます。

 "test_mailing_1@speedia.jp" に送信されたすべての電子メールを "test_mailing_2@speedia.jp" にコピーします。

電子メール アドレス	転送先	アクション
test_mailing_1@speedia.jp	test_mailing_2@speedia.jp	 
test_mailing_1@speedia.jp	test_mailing_2@speedia.jp	 
test_mailing_1@speedia.jp	test_mailing_2@speedia.jp	 

ページサイズ << < > >>

一括で複数の転送設定をしたい

<Excel ファイル (.xls)をインポートして転送設定する場合>

1. 一括作成用の Excel ファイル (.xls)を作成します。
 - ① 1 行目に「Source」、「Target」と入力します。
 - ② 「Source」に転送元メールアドレス、「Target」に転送先メールアドレスを入力します。
※転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい場合は、「Source」にメールアカウントを作成していないアカウントを入力してください。

例

	A	B	C
1	Source	Target	
2	test@domain.com	jill@domain.com	
3	test2@domain.com	bill@domain.com	
4	test3@domain.com	phil@domain.com	
5			

2. コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「フォワーダー」を選択します。
「参照」をクリックし、1で作成した Excel ファイル (.xls)を選択後、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メールアドレスや電子メールフォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excelスプレッドシートファイル(.xls)またはコンマ区切り値シート(CSVファイル)(.csv)を使用できます。CSVファイルは、.csv拡張子が付いているplainテキストファイルです。

 CSVまたはExcelファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか? [ページ例](#)を確認してください。

手順1: インポート対象を選択します。

電子メールアカウント

フォワーダー

手順2: コンピューター上のCSVまたはXLSファイルを見つけます。

 参照... example_fwd.xls

手順3

最初の行が列ヘッダーとして処理されます。

 次へ

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

表の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Source	Target
test@ [REDACTED]	[REDACTED]
test2@ [REDACTED]	[REDACTED]
test3@ [REDACTED]	[REDACTED]

 次へ

5. Excelファイル(.xls)からインポートする内容が表示されます。

「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

次のフォワーダーを確認してください。

ソース	保存先
test@ [REDACTED]	[REDACTED]
test2@ [REDACTED]	[REDACTED]
test3@ [REDACTED]	[REDACTED]

 終了

6. インポートが完了します。続けて転送設定したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。



<CSVファイル(コンマ区切り値ファイル)(.csv)をインポートして転送設定する場合>

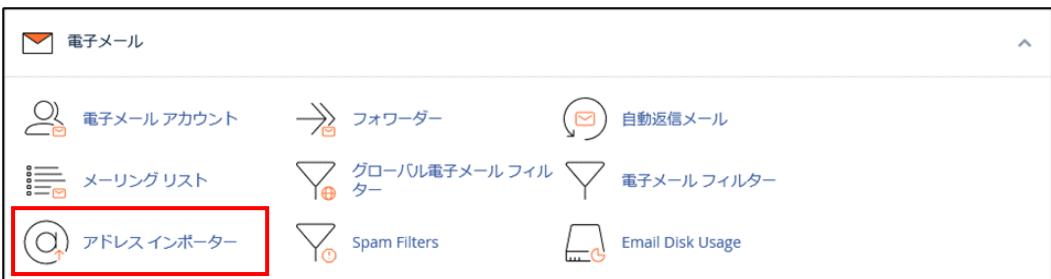
1. 一括作成用の CSV ファイル(コンマ区切り値ファイル)(.csv)を作成します。
 - ① 1行目に「Source」、「Target」と入力します。
 - ② 「Source」に転送元メールアドレス、「Target」に転送先メールアドレスを入力します。

※転送元アドレスで受信せずに転送だけしたい場合は、「Source」にメールアカウントを作成していないアカウントを入力してください。

例

	A	B	C
1	Source	Target	
2	test@domain.com	jill@domain.com	
3	test2@domain.com	bill@domain.com	
4	test3@domain.com	phil@domain.com	
5			

2. コントロールパネルへログインし、「アドレスインポーター」をクリックします。



3. インポート対象に「フォワーダー」を選択します。
 「参照」をクリックし、1で作成した CSV ファイル(.csv)を選択後、
 区切り記号に「コンマ (,)」を選択し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

この機能を使用すると、2種類のファイルを使用してアカウント用に複数の電子メール アドレスや電子メール フォワーダーを同時に作成できます。データのインポートには、Excel スプレッドシートファイル (.xls) またはコンマ区切り値シート (CSV ファイル) (.csv) を使用できます。CSV ファイルは .csv 拡張子が付いているブレーンテキストファイルです。

i CSV または Excel ファイルのインポート設定にヘルプが必要ですか? [ページ例](#) を確認してください。

手順 1: インポート対象を選択します。

電子メールアカウント

フォワーダー

手順 2: コンピューター上の CSV または XLS ファイルを見つけます。

参照... example_fwd.csv

手順 3

区切り記号の選択

コンマ (,)

スペース

セミコロン (;)

タブ

その他 □

最初の行が列ヘッダーとして処理されます。

次へ

4. 内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

表の各列に対応するヘッダーをドロップダウンから選択します。

Source	Target
test@.....
test2@.....
test3@.....

次へ

5. CSV ファイル(.csv)からインポートする内容が表示されます。

「終了」をクリックするとインポートが実行されます。

アドレスインポーター

フォワーダーのインポート

次のフォワーダーを確認してください。

ソース	保存先
test@[REDACTED]	[REDACTED]
test2@[REDACTED]	[REDACTED]
test3@[REDACTED]	[REDACTED]

終了

6. インポートが完了します。続けて転送設定したい場合は、「その他をインポート」をクリックします。

アドレスインポーター

インポートを実行しています。しばらくお待ちください。

① [REDACTED] => [REDACTED] will be forwarded to [REDACTED]
② [REDACTED] => [REDACTED] will be forwarded to [REDACTED]
③ [REDACTED] => [REDACTED] will be forwarded to [REDACTED]

その他をインポート

メーリングリストを作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「メーリングリスト」をクリックします。



2. 必要事項を入力し、「追加」をクリックします。

メーリングリスト

単一のアドレスを使用して、複数の電子メールアドレスに電子メールを送信します。詳細については、[documentation](#)を参照してください。

メーリングリストの作成

リスト名

パスワード

パスワード(再入力)

強度 非常に弱い (0/100) パスワード生成ツール

アクセスの種類
 パブリック
 プライベート

追加

- ・リスト名…メーリングリストの名前です。
- ・パスワード…メーリングリストのパスワードです。強度が 50 以上である必要があります。
パスワード生成ツールでランダムなパスワードを生成することも可能です。
- ・パスワード(再入力)…上記で入力したパスワードを確認の為、再度入力してください。
- ・アクセスの種類…メーリングリストのパブリック・プライベートを設定できます。
後からでも変更は可能です。
 - ・パブリック…新しい登録者は、電子メールの確認もしくは管理者の承認のみが必要です。
 - ・プライベート…新しい登録者は、電子メールの確認および管理者の承認両方が必要です。

3. 「現在のリスト」に作成したメーリングリストが表示されていれば、作成完了です。

現在のリスト						
リスト名 ▲	使用量	アクセス	管理	機能		
test_mailing_list@speedia.com	9.77 KB	private	詳細			
test_mailing_list@speedia.com	9.7 KB	public	詳細			
test_mailing_list@speedia.com	9.03 KB	public	詳細			

4. 続いて、メーリングリストの設定を行います。設定を行いたいメーリングリスト右の「管理」をクリックします。

現在のリスト						
リスト名 ▲	使用量	アクセス	管理	機能		
test_mailing_list@speedia.com	9.77 KB	private	詳細			
test_mailing_list@speedia.com	9.7 KB	public	詳細			
test_mailing_list@speedia.com	9.03 KB	public	詳細			

メーリングリストの設定画面が開きます。

test_mailing_list メーリングリスト管理 全体的オプション の部	
設定分類	他の管理項目
<ul style="list-style-type: none"> • [全体的オプション] • パスワード • 言語オプション • 会員管理... • 普通配達オプション • 「まとめ読み」オプション 	<ul style="list-style-type: none"> • プライバシー・オプション... • 配送エラー処理 • 保存書庫オプション • メール <-> ニュース相互配送 • 自動応答 • 添付ファイル除去 • 話題
	<ul style="list-style-type: none"> • 未処理の申請を処理 • リスト総合案内のページへ • 公開 HTML ページとテキストファイルを編集する • リストの保存書庫に移動する
	<ul style="list-style-type: none"> • ログアウト

<メーリングリストの設定>

設定項目が多岐にわたるため、一般的なメーリングリスト運用に必要な設定のみ解説いたします。その他の項目につきましては、お客様任意でご利用下さい。

- 言語を日本語表記にする（[・言語オプション](#) の変更）

1. メーリングリストの設定画面が、英語表記になっている場合がございます。
 その場合は、「Language Options」をクリックし、「Default language for this list.」が「English(USA)」になっている場合は英語表記が選択されている状態です。「Languages supported by this list.」から変更したい言語（日本語表記にしたい場合は「Japanese」にチェック）を選択し、画面下部の「Submit Your Changes」をクリックしてください。

mailing list administration

General Options Section

Configuration Categories	Other Administrative Activities
<ul style="list-style-type: none"> • [General Options] • Passwords • Language options • Membership Management... • Non-digest options • Digest options 	<ul style="list-style-type: none"> • Privacy options... • Bounce processing • Archiving Options • Mail<->News gateways • Auto-responder • Content filtering • Topics
	<ul style="list-style-type: none"> • Tend to pending moderator requests • Go to the general list information page • Edit the public HTML pages and text files • Go to list archives
	<ul style="list-style-type: none"> • Logout

Language options

Natural language (internationalization) options.

Description	Value
Default language for this list. (Details for preferred language)	<input type="button" value="English (USA) ▾"/>

2. 「Default language for this list.」のプルダウンメニューより「Japanese」が選択可能になります。「Japanese」を選択して、もう一度画面下部の「Submit Your Changes」をクリックしてください。管理画面の言語が変更されたら、変更設定完了です。

・メーリングリスト会員の一覧を確認する

1. 「会員管理」の「会員リスト」をクリックします。

<ul style="list-style-type: none"> • 全体的オプション • パスワード • 言語オプション • 会員管理... <ul style="list-style-type: none"> ◦ 【会員リスト】 ◦ まとめて入会登録 ◦ まとめて退会処理 ◦ アドレス変更 ◦ 会員リストの同期 • 普通配送オプション • 「まとめ読み」オプション 	<ul style="list-style-type: none"> • プライバシー・オプション... • 配送エラー処理 • 保存書庫オプション • メール <-> ニュース相互配送 • 自動応答 • 添付ファイル除去 • 話題
--	---

2. 会員一覧が表示されます。

会員リスト

会員検索 (ヘルプ):

[この表の説明を表示するには、ここをクリック。](#)

合計 1 名										
退会	会員アドレス 会員名	制限	隠れ会員	配送停止 [理由]	受領	控え無	ダブリ無	まとめ読み	平文	言語
<input type="checkbox"/>	[REDACTED] <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 <input type="button" value="▼"/>				

なお、未登録時は以下のような表示になります。

合計 0 名										
退会	会員アドレス 会員名	制限	隠れ会員	配送停止 [理由]	受領	控え無	ダブリ無	まとめ読み	平文	言語

・メーリングリスト会員を追加する

1. 「会員管理」の「まとめて入会登録」をクリックします。

- [全体的オプション](#)
- [パスワード](#)
- [言語オプション](#)
- [会員管理...](#)
 - [【会員リスト】](#)
 - [まとめて入会登録](#)
 - [まとめて退会処理](#)
 - [アドレス変更](#)
 - [会員リストの同期](#)
- [普通配送オプション](#)
- [「まとめ読み」オプション](#)

2. メーリングリストに追加したいアドレスを入力し、「変更を送信する」をクリックします。1行につき1アドレスを入力してください。複数アドレスを登録したい場合は、改行して次のアドレスを入力してください。

まとめて入会登録

これらのアドレスをすぐに登録しますか? それとも招待しますか?	<input checked="" type="radio"/> 入会を申し込み <input type="radio"/> 招待
新入会員に歓迎メールを出しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> はい
リスト管理者に新規入会を通知しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい

1行に1アドレスを入力...

...またはアップロードするファイルを指定してください: ファイルが選択されていません。

招待または入会の通知の先頭に付ける文章を以下に入力してください。最終行の後に、空行を1行以上入れてください...

変更を送信する

・メーリングリスト会員の削除

- 「会員管理」の「まとめて退会処理」をクリックします。

- [全体的オプション](#)
- [パスワード](#)
- [言語オプション](#)
- [会員管理...](#)
 - [【会員リスト】](#)
 - [まとめて入会登録](#)
 - [まとめて退会処理](#)
 - [アドレス変更](#)
 - [会員リストの同期](#)
- [普通配達オプション](#)
- [「まとめ読み」オプション](#)

- メーリングリストから削除したいアドレスを入力し、「変更を送信する」をクリックします。

まとめて退会処理

退会手続きの確認通知を退会会員宛に送りますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
リスト管理者に通知しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
1行に1アドレスを入力...	
...またはアップロードするファイルを指定してください: <input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。 <input style="border: 1px solid red; padding: 2px 10px;" type="button" value="変更を送信する"/>	

web メールを使用したい

<web メールへのアクセス方法>

① ブラウザで直接アクセスする方法

1. ブラウザのアドレスバーに webmail の URL を入力し、Enter キーを押します。
- web メールのアクセス URL は下記です。

https://ドメイン名:2096

 <https://example.jp:2096/>

2. web メールのログイン画面が開きますので、「電子メールアドレス」と「パスワード」を入力して「ログイン」をクリックします。

※パスワードが不明な場合は、コントロールパネルよりメールアカウントのパスワードを再設定してください。



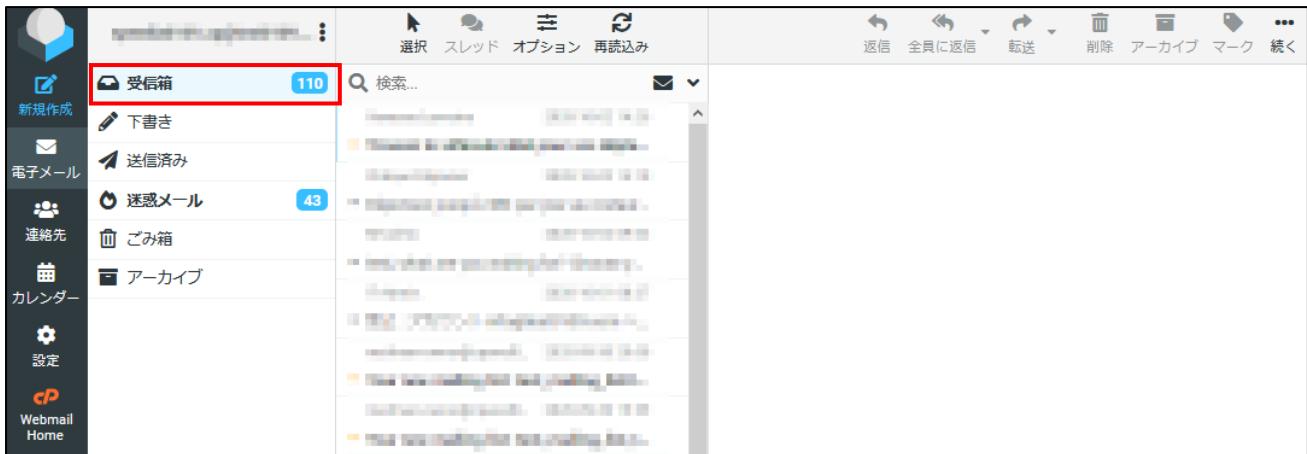
The image shows a webmail login interface. At the top, the word "Webmail" is written in large orange letters. Below it, there are two input fields: one for "電子メールアドレス" (Email Address) containing "user@example.jp" and another for "パスワード" (Password) showing a masked password. At the bottom of the form is a blue "ログイン" (Login) button, which is highlighted with a red rectangle.

3. Web メールのホーム画面が開きますので、「open」をクリックします。この画面を表示させずに、次回から直接 Web メール画面を開く場合は、「Open my inbox when I log in」にチェックを入れてください。web メールクライアントを変更する場合は、「Change your webmail client」より、「roundcube」もしくは「horde」を選択し、「Open」をクリックしてください。(「roundcube」でのご利用を推奨しておりますので、本マニュアルでは「roundcube」について記載しております。)

The screenshot shows the Roundcube webmail home page with several sections:

- Open your inbox**: Includes a note "※マニュアルはこちらの画面で記載します※" and two buttons: "Open" (highlighted with a red box) and "Open my inbox when I log in".
- Set up email on your device**: A section for selecting a device (set to "Apple® (iPhone®, iPad®)") and entering an email address ("user@example.com"). It also includes a list of configurations to set up (checkboxes for 電子メール, カレンダー, お問い合わせ) and a "Send" button.
- Change your webmail client**: Shows the "horde" logo and notes "↑ 「horde」のご利用はこちらから".
- Manage Your Inbox**: Sections for Autoresponders, Email Filters, and Forwarders.
- Edit Your Settings**: Sections for Contact Information and Account Preferences.
- Fight Spam**
- Other Webmail Features**: Sections for Configure Mail Client and Manage Disk Usage.

4. Web メールが開きます。「受信箱」をクリックすると、受信メールを確認することができます。



5. Web メールを終了する際は、画面左メニュー欄の下部にある「ログアウト」をクリックします。



② コントロールパネルからアクセスする方法

1. コントロールパネルへログインし、「電子メールアカウント」をクリックします。



2. メールアカウントの一覧から Web メールを開きたいアカウント右の「Check Email」をクリックします。

電子メール アカウント

List Email Accounts

This feature lets you create and manage email accounts. Want to learn more? Read our [documentation](#).

99 利用可能 1 使用済み

<< < ページ 1/1 > >>

1 - 2 of 2

検索	Filter: すべて Restricted システム アカウント Exceeded Storage	個のアカウント @ ドメイン	Restrictions	Storage: 使用済み / Allocated / %	Check Email 管理 Connect Devices
		▶ システム	✓ 制限なし: 0 バイト / ∞		Check Email 管理 Connect Devices
		▶ [redacted]	✓ 制限なし: 93.49 KB / 1 GB / 0.01%		Check Email 管理 Connect Devices

Web メールのホーム画面が開きますので、「open」をクリックします。この画面を表示させずに、次回から直接 Web メール画面を開く場合は、「Open my inbox when I log in」にチェックを入れてください。

※コントロールパネルから web メールを開いた場合は、ログイン情報の再入力は不要です。

web メールクライアントを変更する場合は、「Change your webmail client」より、「roundcube」もしくは「horde」を選択し、「Open」をクリックしてください。（「roundcube」でのご利用を推奨しておりますので、本マニュアルでは「roundcube」について記載しております。）

Open your inbox

※マニュアルはこちらの画面で記載します※

roundcube
open source webmail software

「Open」をクリックしてください。

[Open](#) Open my inbox when I log in

Change your webmail client

↑ 「horde」のご利用はこちらから。

Manage Your Inbox

Autoresponders

Email Filters

Forwarders

Edit Your Settings

Contact Information

Account Preferences

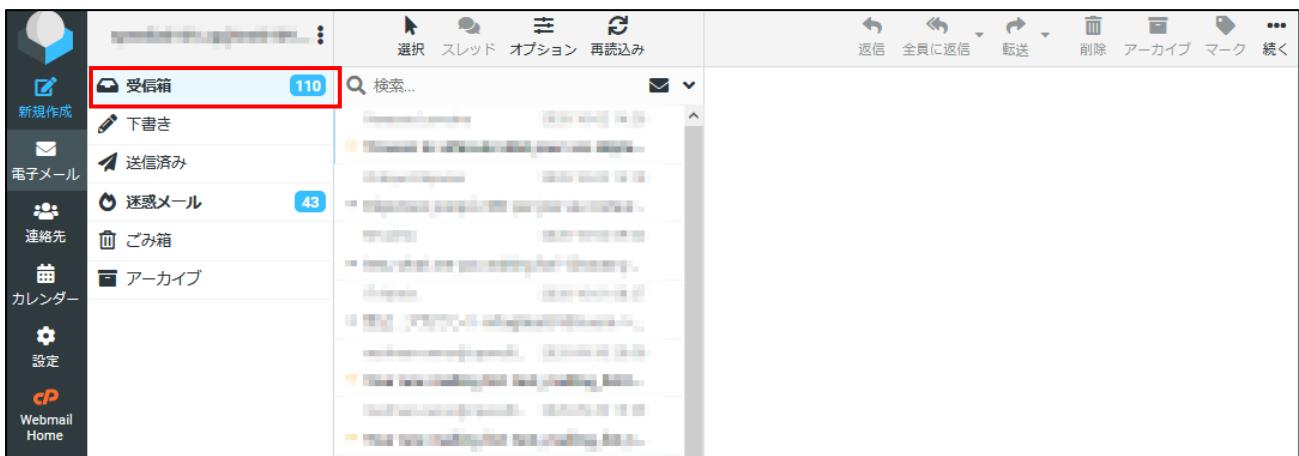
Fight Spam

Other Webmail Features

Configure Mail Client

Manage Disk Usage

3. Web メールが開きます。「受信箱」をクリックすると、受信メールを確認することができま
す。



5. Web メールを終了する際は、画面左メニュー欄の下部にある「ログアウト」をクリックします。



スパムフィルターの設定をしたい

1. コントロールパネルへログインし、「Spam Filters」をクリックします。



2. スパムフィルターの設定画面が表示されます。

Manage the settings for the spam filters (powered by Apache SpamAssassin™) for your email accounts. Identify unsolicited bulk email, more commonly known as spam, and send it to a separate folder (Spam Box) or automatically delete it (Auto-Delete) from your email account. For more information, read the [Apache SpamAssassin](#) documentation.

Spam Filters / Overview

Process New Emails and Mark them as Spam:
Apache SpamAssassin is **enabled**. This will mark suspicious email messages as spam. The server will update the header of new messages whose calculated spam score meets or exceeds the [Spam Threshold Score \(5\)](#).

Automatically Delete New Spam (Auto-Delete):
Auto-Delete is currently **disabled**. Enable this option to automatically delete spam messages. The Auto-Delete option permanently deletes new emails with a calculated spam score that meets or exceeds the Auto-Delete Threshold Score.

Configure Auto-Delete Settings

Additional Configurations (For Advanced Users):
Most users will not need to customize these settings.
[Show Additional Configurations](#)

ブラウザの機能で日本語に訳すと以下になります。

スパムフィルター

電子メールアカウントのスパムフィルター（ApacheSpamAssassin™を利用）の設定を管理します。迷惑メール（一般的にはスパムと呼ばれます）を特定し、別のフォルダーに送信するか（スパムボックス）、メールアカウントから自動的に削除します（自動削除）。詳細については、[ApacheSpamAssassin](#)ドキュメントを参照してください。

[スパムフィルター](#) / 概要

 新しいメールを処理し、スパムとしてマークします。
ApacheSpamAssassinが**有効**です。これにより、疑わしい電子メールメッセージがスパムとしてマークされます。を満たすか超える新しいメッセージのヘッダーを更新します [スパムしきい値スコア](#) (5)

 新しいスパムを自動的に削除する（自動削除）：
自動削除は現在**無効**です。このオプションを有効にすると、スパムメッセージが自動的に削除されます。自動削除オプションは、自動削除しきい値スコア以上の計算されたスパムスコアを持つ新しい電子メールを完全に削除します。

[自動削除設定を構成する](#)

追加の構成（上級ユーザー向け）：
ほとんどのユーザーは、これらの設定をカスタマイズする必要はありません。

[追加の構成を表示する](#) ▾

Process New Emails and Mark them as 迷惑メールの判定のオンオフを切り替えられます。

Spam: デフォルトでは ON になっています。

Automatically Delete New Spam (Auto-Delete): オンにすると迷惑メールと判定されたメールを自動削除します。デフォルトは OFF になっています。

その他の設定については、ご希望の場合はお客様の責任でご設定ください。

3. FTP

FTP アカウントを作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. 必要事項を入力し、「FTP アカウントの作成」をクリックします。

The screenshot shows the 'FTP Account Creation' form. The fields highlighted with red boxes are:

- ログイン (Login): An input field containing a placeholder '@'.
- パスワード (Password): An empty input field.
- パスワード (再入力) (Password (Re-enter)): An empty input field.
- 強度 (Strength): A dropdown menu set to '非常に弱い (0/100)' (Very Weak) with a red box around it. To its right is a 'Password Generator' button.
- ディレクトリ (Directory): An input field containing '/home/' followed by a dropdown menu set to '2000 MB'.
- クオータ (Quota): A dropdown menu set to '無制限' (Unlimited) with a red box around it.
- FTP アカウントの作成 (Create FTP Account): A blue button at the bottom left of the form.

- ・ログイン：任意の FTP アカウント入力してください
- ・ドメイン：独自ドメインを選択します。
- ・パスワード：FTP パスワードを入力してください。

※パスワードは 6 文字以上、強度 50 以上である必要があります。

- ・パスワード（再入力）：前項と同じものを再度入力してください。

- ・強度：入力したパスワードの強度を表示します。
パスワードの強度が 50 以上でないとアカウントを作成することができません。
- ・パスワード生成ツール：クリックすると右図の画面が表示され、ランダムなパスワードを自動生成できます。「詳細オプション」をクリックすると、長さや使用する文字列をカスタマイズ可能です。

パスワード生成ツール

パスワードの生成

詳細オプション »

長さ: (10-18)

英字: 両方 (aBcD) 英字以外: 両方 (1@3\$)

小文字 (abc) 数 (123)

大文字 (ABC) 記号 (@#\$)

このパスワードを安全な場所にコピーしました。

パスワードの使用 **キャンセル**

- ・ディレクトリ：該当 FTP アカウントのホームディレクトリを設定します。通常は「public_html/ドメイン名/FTP アカウント名」が自動で入力されます。**設定したホームディレクトリより上の階層へは移動することはできません**。また、ホームページとして web に公開されるのは、public_html 直下になります。
特別な FTP アカウントに関しては、すべての階層を表示することができます。
- ・クォータ：前項で設定した、ホームディレクトリのクォータを設定します。
※cpanel02.jpserve.jp では、クォータ設定機能はございませんのでご了承ください。

3. FTP アカウントの作成が完了すると、下に作成済みの FTP アカウント一覧が表示されます。

FTP アカウント				
ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション	ページサイズ <input type="text" value="10"/>
...@...jpserve.jp	...@...jpserve.jp	0 / ∞ MB		
...@...jpserve.jp	...@...jpserve.jp	0 / ∞ MB		
...@...jpserve.jp	...@...jpserve.jp	0 / ∞ MB		

特別な FTP アカウント				
種類	ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション
人	...@...jpserve.jp	...@...jpserve.jp	17 / 10240 MB	
機器	...@...jpserve.jp	...@...jpserve.jp	17 / 10240 MB	

※cpanel02.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

FTP アカウントを削除したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. FTP アカウント一覧から、削除したいアカウント右の「削除」をクリックします。

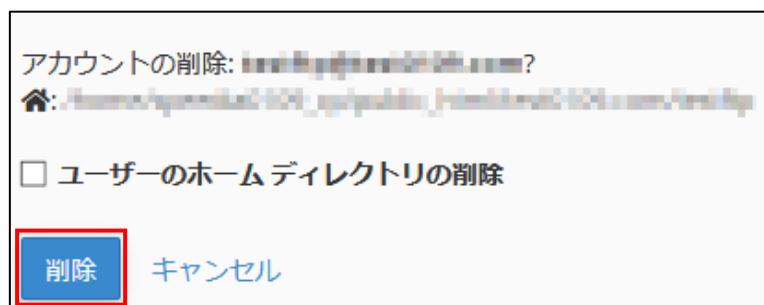
The screenshot shows the 'FTP Account' list page. It includes a search bar, a '検索' (Search) button, and a 'ページサイズ' (Page Size) dropdown set to 10. The table has columns for 'ログイン' (Login), 'パス' (Pass), '使用量 / クォータ' (Usage / Quota), and 'アクション' (Actions). The 'アクション' column contains links for 'パスワードの変更' (Change Password), 'クォータの変更' (Change Quota), '削除' (Delete), and 'FTP クライアントの構成' (Configure FTP Client). A red box highlights the '削除' link for the first account. Below the table, there is a section titled '特別な FTP アカウント' (Special FTP Accounts) with two entries, both of which also have 'Delete' links in their respective action columns.

※cpanel02.jpserv.e.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

3. 「削除」をクリックしたアカウントの下に、再度「削除」ボタンが表示されます。

アカウントと一緒にユーザーのホームディレクトリも削除する場合は、「ユーザーのホームディレクトリの削除」にチェックを入れて削除ボタンをクリックしてください。

※アカウントと一緒に削除したホームディレクトリは復旧できませんので、十分にご注意ください。



FTP パスワードを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. FTP アカウント一覧から、パスワードを変更したいアカウント右の「パスワードの変更」をクリックします。

※特別な FTP アカウントのパスワードはここでは変更できません。変更する場合は、【コントロールパネルのログインパスワードを変更したい】をご参照ください。

FTP アカウント					
検索	検索	ページサイズ 10			
ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション		
test_pubin@mail.jpserve.jp	/home/speed.../pubin/.mail	0 / ∞ MB	パスワードの変更 クォータの変更 削除 FTP クライアントの構成		
test_user@mail.jpserve.jp	/home/speed.../testUser/	0 / ∞ MB	パスワードの変更 クォータの変更 削除 FTP クライアントの構成		
test_pubin@mail.jpserve.jp	/home/speed.../convertpip	0 / ∞ MB	パスワードの変更 クォータの変更 削除 FTP クライアントの構成		

※cpanel02.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

3. 新しいFTP パスワードと、確認のために再度同じパスワードを入力します。パスワード生成ツールで生成することも可能です。入力後、「パスワードの変更」をクリックします。

※パスワードは 6 文字以上、強度 50 以上である必要があります。

The screenshot shows a password change form. It has two input fields for 'Password' and 'Password (再入力)' (Re-enter Password), which are both highlighted with a red box. Below these is a 'Strength' field with a progress bar showing '非常に弱い (0/100)'. To the right of the strength field is a button labeled 'Password Generation Tool'. At the bottom left is a blue button labeled 'Change Password'.

FTP 容量を変更したい

※cpanel01.jpserve.jp ご利用のお客様のみ設定可能な内容となります。

cpanel02.jpserve.jp では、FTP 容量の変更はできませんのでご了承ください。

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. FTP アカウント一覧から、容量を確認したいアカウント右の「クオータの変更」をクリックします。

FTP アカウント				
検索	検索			ページサイズ 10
ログイン	パス	使用量 / クオータ	アクション	
test_publi...@test01.jpserve.jp	/home/test01.../public_html	0 / ∞ MB	パスワードの変更 クオータの変更 削除 FTP クライアントの構成	
test_publi...@test02.jpserve.jp	/home/test02.../public_html	0 / ∞ MB	パスワードの変更 クオータの変更 削除 FTP クライアントの構成	
test_publi...@test03.jpserve.jp	/home/test03.../public_html	0 / ∞ MB	パスワードの変更 クオータの変更 削除 FTP クライアントの構成	

3. 新しいクオータを入力します。クオータを設定しない場合は、「無制限」をクリックしてください。設定後、「クオータの変更」をクリックします。
※クオータを無制限に変更しても、契約プランのドメイン全体の容量は変更されませんので、ご注意ください。

The screenshot shows a modal dialog titled 'FTP のクオータ' (FTP Quota). It contains two radio buttons: one for '2000 MB' and one for '無制限' (Unlimited). The '無制限' button is selected. At the bottom right are two buttons: 'クオータの変更' (Change Quota) and 'キャンセル' (Cancel), with 'クオータの変更' also highlighted by a red box.

4. FTP アカウント一覧から、クオータが変更されたことを確認します。

FTP アカウント					
ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション		
test_publi@speed...com	/home/speed.../publi/com	0 / ∞ MB	パスワードの変更	クォータの変更	削除 FTP クライアントの構成
test_publi@speed...com	/home/speed.../test_publi/com	0 / ∞ MB	パスワードの変更	クォータの変更	削除 FTP クライアントの構成
test_publi@speed...com	/home/speed.../com/test	0 / ∞ MB	パスワードの変更	クォータの変更	削除 FTP クライアントの構成

※cpanel02.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

FTP 接続情報を確認したい

1. コントロールパネルへログインし、「FTP アカウント」をクリックします。



2. FTP アカウント一覧から、FTP 接続情報を確認したいアカウント右の「FTP クライアントの構成」をクリックします。

FTP アカウント					
ログイン	パス	使用量 / クォータ	アクション		
test_publi@speed...com	/home/speed.../publi/com	0 / ∞ MB	パスワードの変更	クォータの変更	削除 FTP クライアントの構成
test_publi@speed...com	/home/speed.../test_publi/com	0 / ∞ MB	パスワードの変更	クォータの変更	削除 FTP クライアントの構成
test_publi@speed...com	/home/speed.../com/test	0 / ∞ MB	パスワードの変更	クォータの変更	削除 FTP クライアントの構成

※cpanel02.jpserve.jp では、クォータ設定機能がございませんので画面の項目数が異なります。

3. FTP 接続情報が表示されます。

The screenshot shows the 'Manual Settings' section of the FTP configuration. It displays the following information:

- FTP ユーザー名: test_publi@speed...
- FTP サーバー: speed...
- FTP & 明示的な FTPS ポート: 21

① 通常の FTP アカウントの場合

- FTP ユーザー名：@以前、もしくは@以降を含めたすべてが FTP アカウントになります。
(例：test もしくは test@example.jp)
- FTP サーバー：FTP ホスト名です。
- FTP & 明示的な FTPS ポート(ポート番号)：ポー

ト番号は 21 になります。

② 特別な FTP アカウントの場合

<メインアカウント>

- ・FTP ユーザー名：「cPanel のログインアカウント」と同じになります。
- ・FTP サーバー：FTP ホスト名です。
- ・FTP & 明示的な FTPS ポート(ポート番号)：ポート番号は 21 になります。

<ログアクセスアカウント>

- ・FTP ユーザー名：「cPanel のログインアカウント_logs」になります。
cPanel のログインアカウントが test の場合…test_logs
- ・FTP サーバー：FTP ホスト名です。
- ・FTP & 明示的な FTPS ポート(ポート番号)：ポート番号は 21 になります。

※FTP 接続の際は「暗号化なし」で接続をするようお願いします。(FTP クライアントによって表記は異なります)

FTP でデータをアップロードしたい

1. 「FTP 接続情報を確認したい」で確認した FTP アカウント情報を FTP ソフトに設定し、FTP で接続し、アップロードします。FTP ソフトの使用方法については、提供元にご確認ください。
※ホームページ製作作業は、以下 public_html 内でお願いいたします。

/home/cPanel のログインアカウント/public_html

※万一、誤って public_html フォルダを消してしまった場合、ホームページが表示不可となりますので、十分にご注意下さい。なお、お客様自身で再度 public_html フォルダを作成いただくことは可能です。その際はホームページデータも再度アップロードを行っていただくようになります。

ディスクの使用量を確認したい

1. コントロールパネルへログインし、「ディスク使用量」をクリックします。



2. ディレクトリ一覧が表示されます。各ディレクトリをクリックすると、ファイルマネージャーが開きさらにファイルとディレクトリの一覧が表示されます。/tmp フォルダは、アクセス解析関連のファイルが保存されています。

ディスク使用量機能を使用してアカウントの利用可能な領域を監視します。表示される数字は、すべて最も大きいディレクトリに関連しています。個々のファイルの使用量データを確認する場合は、 ファイルマネージャー を使用します。個々のデータベースのデータを確認する場合は、 MySQL 機能を使用します。詳細については、 documentation を参照してください。		
場所	サイズ (MB)	ディスク使用量
ホーム ディレクトリ内のファイル。	0.02 MB	
非表示のサブディレクトリにあるファイル。	3.54 MB	<div style="width: 100%;"><div style="width: 10%;">■</div></div>
cache/	0.00 MB	
etc/	3.36 MB	<div style="width: 100%;"><div style="width: 10%;">■</div></div>
logs/	0.04 MB	
perl/	0.00 MB	
public_ftp/	0.00 MB	
public_html/	0.03 MB	
ssl/	0.05 MB	
test/	0.25 MB	<div style="width: 100%;"><div style="width: 5%;">■</div></div>
tmp/	1.64 MB	<div style="width: 100%;"><div style="width: 10%;">■</div></div>
wordpress-backups/	0.00 MB	
MySQL	0.00 MB	
メーリング リスト	0.02 MB	
電子メール アーカイブ	0.00 MB	* メールディレクトリに含まれています。
電子メール アカウント †	7.07 MB	* メールディレクトリに含まれています。
その他の使用状況 ‡	1.46 MB	合計 17.48MB のディスク領域が使用されています。 10,240.00 MB のクオータ制限 (17.48 MB 使用)。

† スペースを節約するように設計された圧縮またはハードリンクの最適化を使用すると、電子メールアカウントストレージがディスク上で占めるスペースが少なくなる可能性があります。電子メールアカウントストレージには、システムが電子メールの保存に使用するメタデータは含まれていません。

‡ ホームディレクトリ外のファイル、システムが電子メールをメールディレクトリに保存するために使用するメタデータ、電子メールをごみ箱フォルダに保存するファイル、またはアクセスする権限がないファイル。

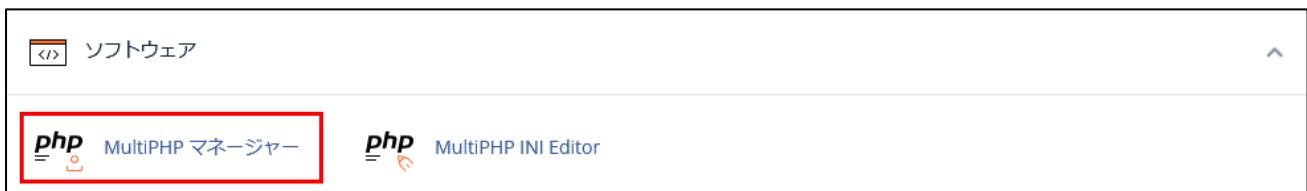
これらの数字は、アカウントのディスク使用量に対する最新の変更を反映していない場合があります。

以下のディスク使用量テーブルは、ディレクトリ自身が使用している領域ではなく、ディレクトリのコンテンツが使用している領域の量を示しています。一般的に、ファイルは実際のサイズより多くのディスク領域を占有します。これにより、[ファイルマネージャー](#)に表示されるデータとここに表示される情報との間で不一致が生じる場合があります。

ディレクトリ	含まれるディスク使用量	
	MB	バイト
./	16.00	16774050
> .cpaddons	0.00	0
.cpan	0.00	0
> .cpanel	0.41	434176
> .phorde	3.05	3194880
> .htpasswd	0.00	0
.razor	0.06	65536
.spamassassin	0.00	4096
.subaccounts	0.02	16384
.trash	0.00	0
cache	0.00	0
> etc	3.36	3526656
> logs	0.04	36864
> mail	7.07	7410594
perl	0.00	0
> public_ftp	0.00	0
> public_html	0.03	32768
> ssl	0.05	49152
test	0.25	258048
> tmp	1.64	1720320
wordpress-backups	0.00	0

PHP のバージョンを変更したい

1. コントロールパネルへログインし、「MultiPHP マネージャー」をクリックします。



PHP のバージョンを選択することができます。

システムの PHP バージョンと表示されているのが、既定の PHP バージョンです。

PHP のバージョンを変更する場合は、該当ドメインにチェックを入れ、右上のドロップリストから変更後のバージョンを選択し、「適用」をクリックします。

※PHP5.4～PHP7.4 は現在、非推奨のバージョンになっています。利用される場合は、不具合・セキュリティ上の問題が起こっても弊社では責任を負いかねます。

※サーバの仕様上、CentOS のサポートされているバージョンで PHP をリリースします。CentOS7 のサポートが終了(2024-06-30 予定)すると、コントロールパネルも追加の PHP バージョンのリリースは終了します。また今後リリースされる OS では、基本的に PHP8 系以降のみご利用可能となる予定です。

※cpanel02.jpserve.jp では PHP7.2 以降のバージョンのみご利用可能となります。

The screenshot shows the MultiPHP Manager interface. At the top, it says "MultiPHP マネージャー". Below that, "システムの PHP バージョン" is listed, with a note that the system default PHP version is set by the system administrator. It also mentions that if a domain has an "inherit" value, its specific PHP version is explicitly set. A red box highlights the "PHP 8.0 (ea-php80)" button. The main area is titled "ドメインごとに PHP バージョンを設定する" and shows a table of domains and their assigned PHP versions. A warning message in a red-bordered box states: "Warning: PHP version PHP 5.4, PHP 5.5, PHP 5.6, PHP 7.0, PHP 7.1, PHP 7.2, PHP 7.3, PHP 7.4 is deprecated. We recommend that you update to a supported version of PHP. For more information, read our PHP documentation." To the right, there's a dropdown menu for selecting a PHP version ("PHP バージョン") with "PHP 8.0 (ea-php80)" selected, and a blue "適用" (Apply) button.

4. データベース

データベースを新規に作成したい

※弊社で領域作成時に、データベースはすでに作成した状態でお渡しいたします。新たに作成する必要がある場合は、既に作成済みのデータベースを削除してから新規作成していただきますようお願ひいたします。（削除後は復旧不可）

※「MySQL® データベース ウィザード」から作成すると、データベースとユーザーを同時に作成することができます。作成する際は、「MySQL® データベース ウィザード」からの作成を推奨いたします。

1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。



2. 新しいデータベース名を入力し、「データベースの作成」をクリックします。

新しいデータベースの作成

新しいデータベース:

- 下記メッセージが表示されますので、「現在のデータベース」に作成したデータベースが表示されていることを確認します。



現在のデータベース			
検索		検索	
データベース	サイズ	権限を持つユーザー	アクション
test_database	0バイト		<input type="button" value="名前の変更"/> <input type="button" value="削除"/>
ページ サイズ 10 << < > >>			

データベースユーザーを追加したい

※ 「MySQL® データベース ウィザード」から作成すると、データベースとユーザーを同時に作成することができます。作成する際は、「MySQL® データベース ウィザード」からの作成を推奨いたします。

- コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。

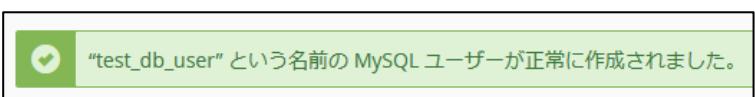


- 「新しいユーザーの追加」より、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ユーザーの作成」をクリックします。パスワードは 6 文字以上、強度が 50 以上である必要があります。

新しいユーザーの追加

ユーザー名	test_db_user
パスワード	*****
パスワード(再入力)	*****
強度	非常に強力 (99/100)
<input type="button" value="ユーザーの作成"/> パスワード生成ツール	

3. 「“入力した MySQL ユーザー名”と
いう名前の MySQL ユーザーが正常
に作成されました。」と表示されたら作成完了です。



データベースを削除したい

1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。



2. 「現在のデータベース」のデータベース一覧右の「アクション」の「削除」をクリックします。

現在のデータベース			
データベース	サイズ	権限を持つユーザー	アクション
test_db	0 バイト	test_user	名前の変更 削除

ページ サイズ: 10 << < > >>

3. 削除確認ダイアログが表示されるので、問題なければ削除を行ってください。

※削除したデータベースは元に戻せませんので、十分にご注意ください。



データベースユーザーを削除したい

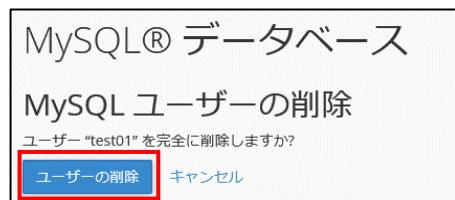
1. コントロールパネルへログインし、「MySQL データベース」をクリックします。



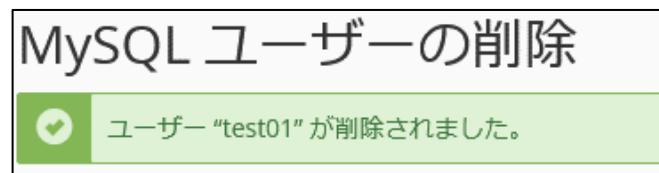
2. 「現在のユーザー」のユーザー一覧右の「アクション」の「削除」をクリックします。

現在のユーザー		
ユーザー	アクション	
test01	パスワードの変更	名前の変更
test01	パスワードの変更	名前の変更

3. 削除確認ダイアログが表示されるので、問題なければ削除を行ってください。



4. 下記画面が表示されたらユーザーの削除完了です。



5. ドメイン

Web サイトを自動的に https で表示するようにしたい

1. コントロールパネルへログインし、「ドメイン」をクリックします。



2. 「Force HTTPS Redirect」を「オン」にします。



3. http でアクセスした際も、強制的に https へリダイレクトされるようになります。

※お客様自身すでにリダイレクト設定を行っている場合、リダイレクトがループしてサイトが表示できない可能性がございますのでご注意ください。

Web サイトにリダイレクト設定をしたい

※こちらのメニューからではなく、public_html に設定されている.htaccess に直接お客様自身で追記してもリダイレクト設定は可能ですが、サーバのアップデートなどで.htaccess の設定が初期化されてしまう可能性がございますので、コントロールパネルからの設定を推奨いたします。

※.htaccess の修正によりサーバの動作に不具合が発生した場合でも、弊社では修正を行うことはできません。お客様の責任において変更・修正をいただきますようお願いいたします。

1. コントロールパネルへログインし、「リダイレクト」をクリックします。



2. 必要項目を入力し【追加】をクリックします。

The screenshot shows the 'Redirect' addition form. It includes fields for 'Type' (选择 '永続(301)'), 'Original URL' (选择 'https://(www.)?'), 'Temporary URL' (选择 'すべてのパブリック ドメイン *'), and 'Destination URL' (input field containing '/'). Below these, there are sections for 'www. Redirect' (radio buttons for 'www. 付きでのみリダイレクト' (selected), 'www. 付きまたは www. なしでリダイレクト', and 'リダイレクトしない: www.'), and 'Wildcard Redirect' (checkbox for 'ワイルドカード リダイレクト'). A blue 'Add' button is highlighted with a red box. At the bottom, a note states: '・ [ワイルドカード リダイレクト] ボックスにチェックを入れると、ディレクトリ内のすべてのファイルがリダイレクトされたディレクトリ内の同じファイル名にリダイレクトされます。' and '・ ワイルドカード リダイレクトを使用して、メイン ドメインをサイト上の別のディレクトリにリダイレクトすることはできません。'

①種類：「永続」か「一時」かを選択します。

「永続」…ブックマークのURLも変更され、検索エンジンや評価もリダイレクト先のURLで置き換わります。

「一時」…ブックマークのURLは変更されず、検索エンジンや評価もリダイレクト前のURLを見続けます。

②https://(www.)? : リダイレクトを行う独自ドメインを選択します。ドメインの下の階層のURLのリダイレクトを行いたい場合は、下の入力欄「/」に続きを入力します。

③リダイレクト先 : リダイレクト先のURLを「http://(https://)」から入力します。

④www. リダイレクト：いずれかを選択します。

「www.付きでのみリダイレクト」…リンクに www がついている、またはユーザーが URL に www を入力した場合にのみリダイレクトされます。

「www.付きまたは www.なしでリダイレクト」…www の有り無し関係なくリダイレクトされます。

「リダイレクトしない: www.」…リンクに www がついている、またはユーザーが URL に www を入力した場合はリダイレクトされません。

⑤ワイルドカードリダイレクト：こちらにチェックを入れることで、下の階層のリンクも全て、リダイレクト先の新しいドメインの同じ階層にリダイレクトされます。

(例) 「www.example.com/test.jpg」→「www.new-example.com/test.jpg」

<転送元のいずれの階層にアクセスした場合でも、転送先のTOPページにリダイレクトする場合>

(例) 「www.example.com/test.jpg」→「www.new-example.com/」

1. 前述のリダイレクト設定の際、「ワイルドカードリダイレクト」にチェックを入れてリダイレクト設定を行います。

2. 転送元ドメインの「ファイルマネージャー」を選択します。



3. 「public_html」を選択します。



Name	Size	Last Modified	Type	Permissions
etc	151 バイト	今日 14:47	httpd/unix-directory	0750
logs	4 KB	昨日 21:35	httpd/unix-directory	0700
mail	4 KB	2021/03/01 17:38	mail	0751
public_ftp	22 バイト	2021/02/15 14:40	publicftp	0750
public_html	4 KB	今日 7:16	publhtml	0750
ssl	77 バイト	2021/11/30 4:45	httpd/unix-directory	0755
tmp	243 バイト	2021/04/02 15:27	httpd/unix-directory	0755
wordpress-backups	6 バイト	2021/02/15 18:00	httpd/unix-directory	0700
access-logs	32 バイト	2021/02/15 14:42	httpd/unix-directory	0777
www	11 バイト	2021/02/15 14:40	publhtml	0777

4. 「.htaccess」を右クリックし、「EDIT」を選択します。

Name	Size	Last Modified	Type	Permissions
.well-known	28 バイト	2020/08/31 12:33	httpd/unix-directory	0755
cgi-bin	23 バイト	2020/09/17 13:03	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	23 バイト	2021/07/02 14:52	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	23 バイト	2021/07/02 14:49	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	84 バイト	2021/07/02 14:53	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	23 バイト	2020/10/20 18:37	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	4 KB	2021/12/07 20:55	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	6 バイト	2021/05/11 6:36	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	4 KB	2021/12/08 15:42	httpd/unix-directory	0755
[REDACTED]	41 バイト	2021/10/01 9:30	httpd/unix-directory	0755
.ftpquota	8 バイト	2020/11/12 0:12	text/x-generic	0600
.htaccess		今日 14:26	text/x-generic	0644
.user.ini		2020/09/29 13:56	text/x-generic	0644
index.html		2020/10/29 0:30	text/html	0644
index.php		2021/04/12 17:00	text/x-generic	0644
php.ini		2020/09/29 13:56	text/x-generic	0644

5. 「.htaccess」を右クリックし、「EDIT」を選択します。



6. 「.htaccess」の内容が表示されますので、最下部に記載してある先ほど追加したリダイレクト設定から、末尾の「\$1」のみを削除します。

```
" FMP  End of configuration file, do not edit
RewriteCond %{HTTP_HOST} ^[REDACTED]\.com$ [OR]
RewriteCond %{HTTP_HOST} ^www\.[REDACTED]\.com$
RewriteRule ^(.*)$ "https\:\/\/[REDACTED]\.com\\$1" [R=301,L]
```

7. 修正後、画面右上の「変更の保存」をクリックして、変更完了です。



6. SSL

※SSL 証明書の持ち込みは、JPS スタンダードプランのみの機能となります。JPS ライトプランでは、弊社指定（cPanel 付属）の SSL 証明書のみ使用できます。

※無料の SSL はドメイン登録後有効になるまでお時間がかかります。恐れ入りますが、2 日ほど経っても有効にならない場合は弊社までご連絡ください。

※サーバの OS、Web サーバソフトウェアは下記になります。外部で SSL 証明書を取得する際の参考にしてください。

OS : Linux

Web サーバ : Apache

秘密鍵を作成・アップロードしたい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「秘密キーを生成、表示、アップロード、または削除します。」をクリックします。

The screenshot shows the SSL/TLS Manager interface. On the left, under 'DEFAULT SSL/TLS KEY TYPE', it says 'The default key type for SSL/TLS certificates and CSRs.' with a note that the current value is RSA, 2,048-bit (recommended). There are other options like ECDSA, P-384 (secp384r1), ECDSA, P-256 (prime256v1), and RSA, 4,096-bit. A blue '保存' (Save) button is at the bottom. On the right, under 'Secret Key (KEY)', there is a red box around the link '秘密キーを生成、表示、アップロード、または削除します。' (Generate, display, upload, or delete secret key). Other sections include '証明書署名要求 (CSR)', '証明書 (CRT)', and 'サイトの SSL のインストールおよび管理 (HTTPS)'.

3. 新しい秘密鍵を作成・もしくはアップロードします。

<秘密鍵を新規に作成する場合>

必要事項を入力し、「生成」をクリックします。

The dialog box has a title '新しい秘密キーを生成します。' and a sub-instruction 'You should generate a new key file for each certificate you install.' It has a dropdown menu for 'キーの種類' set to 'RSA, 2,048-bit (Default)'. A large red box covers the '説明:' (Description) text area and the 'オプション: このフィールドには、この秘密キーの説明を入力できます。' (Option: You can enter a description for this secret key in this field.) text. At the bottom is a blue '生成' (Generate) button.

- キーの種類： 希望のキーサイズを選択します。推奨は 2048 ビットです。

- ・説明： 秘密鍵の説明がある場合は、入力します。

<既存の秘密鍵をアップロードする場合>

秘密鍵の内容を貼付して「保存」をクリックするか、もしくは「参照」からローカルにある.key ファイルを選択してアップロードします。

新しい秘密キーをアップロードします。

既存のキーが存在する場合は、以下のキーを貼り付けるか、それをサーバーにアップロードします。

次のテキストボックスにキーを貼り付けます:

説明:

オプション: このフィールドには、この秘密キーの説明を入力できます。

保存

または

.key ファイルを選択してください。:

参照... ファイルが選択されていません。

説明:

オプション: このフィールドには、この秘密キーの説明を入力できます。

アップロード

① 秘密鍵を貼り付けて作成

- ・次のテキストボックスにキーを貼り付けます： 既存の秘密鍵をメモ帳などのテキストエディタで開き、すべてをコピペーストします。
- ・説明： 秘密鍵の説明が必要な場合は、入力します。

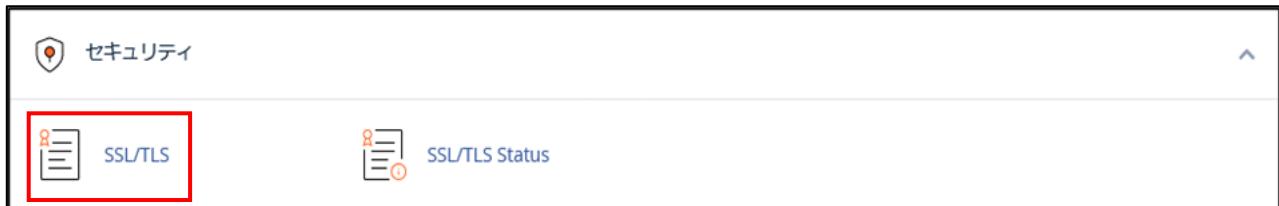
② 秘密鍵をアップロードして作成

- ・.key ファイルを選択してください。： 「参照」をクリックしてローカルにある秘密鍵を選択し、アップロードします。

- ・説明： 秘密鍵の説明が必要な場合は、入力します。
4. 貼り付け、もしくはアップロードが終わったら、それぞれ「保存」、「アップロード」をクリックします。

CSR を作成したい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「SSL 証明書署名要求を生成、表示、または削除します。」をクリックします。

A screenshot of the 'SSL/TLS Manager' interface. The title bar says 'SSL/TLS'. On the left, there's a section titled 'DEFAULT SSL/TLS KEY TYPE' with a 'Show Help Text' button. It shows the current key type is 'RSA, 2,048-bit'. There are several radio button options: 'Use the system's default key type.' (selected), 'RSA, 2,048-bit', 'ECDSA, P-384 (secp384r1)', 'ECDSA, P-256 (prime256v1)', and 'RSA, 4,096-bit'. A blue '保存' (Save) button is at the bottom. On the right, there are three sections: '秘密キー (KEY)' (with a note about generating, displaying, uploading, or deleting), '証明書署名要求 (CSR)' (with a note about generating, displaying, or deleting, highlighted with a red box), and '証明書 (CRT)' (with a note about generating, displaying, uploading, or deleting). At the bottom right is a section for managing 'サイトの SSL のインストールおよび管理 (HTTPS)'.

3. 申請用の各項目を入力して「生成」をクリックします。

<p>キー*</p> <p>Generate a new "RSA, 2,048-bit" key.</p>	<p>会社*</p> <p>会社の登記名を入力してください。会社名にピリオドまたはコンマ以外の記号が含まれる場合は、その記号を使用できることを証明機関に確認してください。</p>
<p>ドメイン*</p> <p>Provide the FQDNs that you are trying to secure, one per line. You may use a wildcard domain by adding an asterisk in a domain name in the form: *.example.com. 注記: 多くの CA では、マルチドメイン証明書 (UCC" または "SAN 証明書" と呼ばれることがある) およびワイルドカードドメインが含まれる証明書を発行してもらう場合、通常より高い料金を請求されます。</p>	<p>会社の部署</p> <p>上記の会社における部署またはグループの名前を入力します。部署名にピリオドまたはコンマ以外の記号が含まれる場合は、その記号を使用できることを証明機関に確認してください。</p>
<p>市区町村*</p> <p>市区町村の正式名称を入力します。略語は使用しないでください。</p>	<p>電子メール</p> <p>ドメインの所有権を検証するために連絡を受け取ることができる有効な電子メールアドレスを指定します。</p>
<p>ステータス*</p> <p>都道府県の正式名称を入力します。略語は使用しないでください。</p>	<p>パスフレーズ</p> <p>一部の証明機関では、パスフレーズを取得するため CSR が必要になる場合があります。証明機関は、CSR パスフレーズを使用することで、通信を行う個人および組織の身分を確認することができます。CSR パスフレーズは、CSR に暗号化されずに保存されます。これに加えて、このパスフレーズは第三者と共有されるため、ここでは重要なパスワードを使用しないでください。</p>
<p>国*</p> <p>国を選択します。</p> <p>証明書の会社の本国を選択します。</p>	<p>説明</p>

生成

- ・ キー: 前項で作成した 対になる 2048 ビット の秘密鍵を選択します
 - ・ ドメイン: SSL を使用したい FQDN を入力します。 (例:www.example.jp,example.jp)
 - ・ 市区町村: 英字表記の市区町村名 (例: Sendai-shi)
 - ・ ステータス (**State の誤訳です**): 英字表記の都道府県名を入力します。 (例: MIYAGI)
 - ・ 国: JP (日本) を選択します。
 - ・ 会社: 英字表記の会社名 または 屋号 を入力します。 (例:SPEEDIA Co., Ltd.)
 - ・ 会社の部署: 英語表記の担当部署名を入力します。 (例:Server Division)
 - ・ 電子メール: 連絡先のメールアドレスを入力します
4. 生成された CSR が表示されます。生成された CSR は、外部サイトで SSL 証明書を取得する際に使用します。
- ※外部サイトでの SSL 取得については、**外部サイトの SSL 証明書発行手順をご参照ください。**

SSL 証明書・中間証明書をインストールしたい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「SSL 証明書を生成、表示、アップロード、または削除します。」をクリックします。

The screenshot shows the 'SSL/TLS' configuration page. On the left, there's a section for 'DEFAULT SSL/TLS KEY TYPE' with options for different key types like RSA and ECDSA. On the right, there are several sections: 'Secret Key (KEY)', 'Certificate Signing Request (CSR)', 'Certificate (CRT)', and 'Site's SSL Installation and Management (HTTPS)'. The 'Site's SSL Installation and Management (HTTPS)' section contains a link 'SSL certificate to generate, view, upload, or delete.' This link is highlighted with a red box.

3. 「新しい証明書のアップロード」から、以下のいずれかの方法で証明書をインストールします。

新しい証明書のアップロード

このフォームは、サードパーティの証明機関から提供された証明書をアップロードするときに使用します。証明書の本文を貼り付けるか、".crt" ファイルから証明書の本文をアップロードすることができます。

次のテキストボックスに証明書を貼り付けます:

説明

証明書の保存

または

証明書ファイル (*.crt) を選択します。

参照... ファイルが選択されていません。

説明

証明書のアップロード

<証明書をテキストとして貼り付け>

- ・次のテキストボックスに証明書を貼り付けます: SSL 証明書をメモ帳などのテキストエディタで開き、すべてをコピーペーストします。
- ・説明: 証明書の説明が必要な場合は、入力します。

<証明書ファイルをアップロード>

- ・証明書ファイル (*.crt) を選択します。: 「参照」をクリックして、ローカルにある証明書ファイルを選択します。
- ・説明: 証明書の説明が必要な場合は、入力します。

4. 貼り付け、もしくは選択が終わったら、それぞれ「証明書の保存」、「証明書のアップロード」をクリックします。

※中間証明書のインストール手順も同様です。

SSL を有効化したい

1. コントロールパネルへログインし、「SSL/TLS」をクリックします。



2. 「SSL 証明書を生成、表示、アップロード、または削除します。」をクリックします。



3. サーバにインストールされている証明書の一覧が表示されますので、設定したい SSL 証明書右の「インストール」をクリックします。

4. 選択した SSL 証明書をインストールする画面に遷移しますので、「証明書のインストール」をクリックします。

Note: You don't have a dedicated IP address. Browsers that were released before 2013 may not support SNI. Because of this, users may see false security warnings when they visit your SSL-secured websites.

証明書の参照

ドメイン
+ subdomain: cpanel, c

IP アドレス

証明書: (CRT)

```
-----BEGIN CERTIFICATE-----
MIIGazCCBQgAwIBAgIReMwA1tBRDcIY7sR809faVxow00YJKoZIhvzNA0ELB0Aw
oJELHMK6A1UEBhMCVMkCzAIBgNMbAgTAIRyMhAwBgYDVQQLExwd1b3VzdG9uMjUw
EwDVQ0KEwxDU9FU2Wws1EIuY4xLThBgNVBAMTJGKRYW5ibCwgSW5jLB02XJO
aWZpY2F0aW9uIEF1dGhvcml0eAEewyM0A4dEcwMDAwM0BafwYyMDExMjkyhZUS
NTIaMBcxFATBgNVBAMTDHRlcs30wMP5LwvbTCAS1u0YJKoZIhvzNA0EB0B0AD
ggEPADCCAOo0ggEBRL34200gbvwvWhNkK7sSK1Itrnp05gy4AcbzbnJ1p1g34
W3L1txR0110tf02y5cE8ICJETe2H1Vbxiuipb51/1g8qmc8371tRjR00ZhuF
iyVJ3HFCz0SyQ1mS1k0PsvdJ3rHFgIk0+u18xu0PpPf5+fqwy3jJPd84bjgjQ
bbpUMF1H1E3Mh9GL13xhLvhkhGOAHc2p4I1DV7Sx+2h40aBhB/HjZwXhEXhj
OfJgppJGzzbeopJPAJ3+r /EPIK3TJt1lg5q9hTvuyJ0aR+n0507noj/UR5kkVY
-----
```

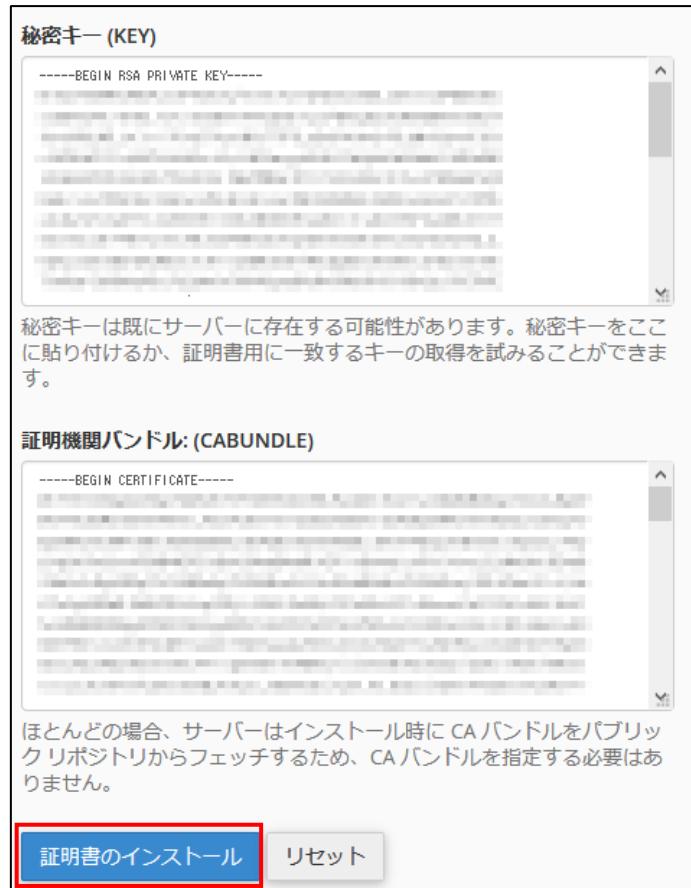
ドメイン: + subdomain: cpanel, c

発行者: cPanel, Inc.

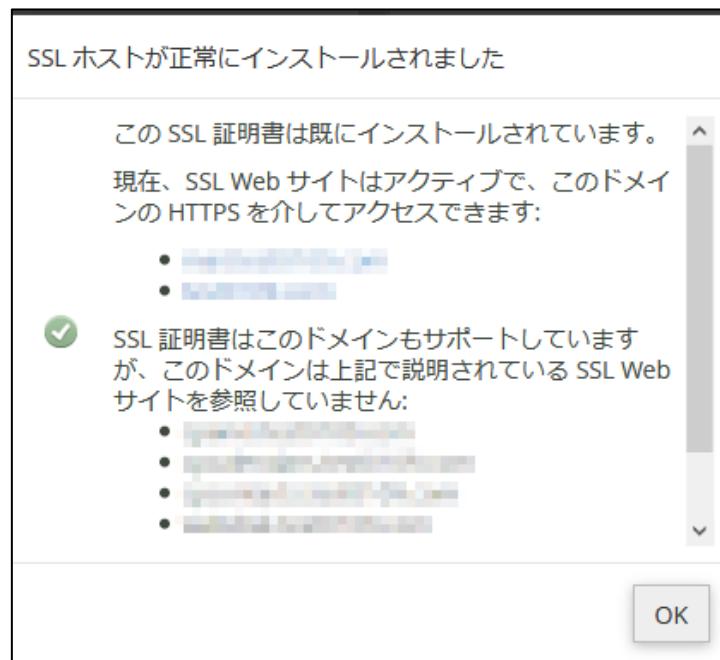
キー サイズ: 2,048 ビット (bf 78d83d ...)

有効期限: 2020/11/30 00:00 ▲ **この証明書は、20 日後
に期限切れになります。[\(詳細情報\)](#)**

証明書は既にサーバーに存在する可能性があります。証明書をごこに貼り付けるか、ドメイン用に証明書の取得を試みることができます。



5. 「SSL ホストが正常にインストールされました」と表示されれば完了です。



7. WordPress

WordPress をインストールしたい

※WordPress を含め CMS 等はサポート対象外となります。WordPress 自体の操作・運用はお客様任意でお願いいたします。

1. コントロールパネルへログインし、「WordPress Toolkit」をクリックします。



2. 「インストール」をクリックします。



3. セットアップ画面が表示されますので、各項目に従って設定を行い、「インストール」をクリックします。WordPress 管理者のユーザ名・パスワードとデータベースユーザ名・パスワードは忘れずメモしてください。

WordPress をインストール

×

インストールオプションを選択

ご利用のホスティングプランでは、これ以上データベースを作成できません。WordPress インストールは、データベースを新規作成せず、既存のデータベースを使用します。

フィールドを空のままにすると、値がランダムに生成されます。

全般

インストールパス / インストールディレクトリ

ウェブサイトタイトル

プラグイン/テーマセット

ウェブサイトの言語

バージョン

WordPress 管理者

ユーザ名

パスワード 生成

メールアドレス

データベース

データベース名

データベーステーブルの префикс

データベースユーザ名

データベースユーザのパスワード 生成

自動更新の設定

WordPress Toolkit は、WordPress コア、プラグイン、テーマのアップデートを公開後すぐに自動インストールできます。

WordPress を自動更新

(i)

- いいえ
たとえば、4.7.1 も 4.8 も自動的にインストールされません。
- はい、ただしマイナー（セキュリティ）アップデートのみ
たとえば、4.7.1 はインストールされますが、4.8 はされません
- はい、すべての（マイナーおよびメジャー）アップデート
たとえば 4.7.1 と 4.8 を自動的にインストールします

プラグインを自動更新

- 個別に定義

各プラグインは独自の自動更新設定を使用します

- WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいプラグインに対し、デフォルトで自動更新を有効にする
- 個別に定義されますが、セキュリティアップデートは自動更新されます
プラグインごとに個別の自動更新設定を使用しますが、脆弱性のあるプラグインは設定にかかわらず自動更新されます
 - WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいプラグインに対し、デフォルトで自動更新を有効にする
 - 脆弱性プラグインを更新ではなく非アクティブ化する

- 強制

すべてのプラグインが個別の自動更新設定にかかわらず強制的に自動更新されます

- 脆弱性プラグインを更新ではなく非アクティブ化する

テーマを自動更新

- 個別に定義

各テーマは独自の自動更新設定を使用します

- WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいテーマに対し、デフォルトで自動更新を有効にする

- 個別に定義されますが、セキュリティアップデートは自動更新されます

テーマごとに個別の自動更新設定を使用しますが、脆弱性のあるテーマは設定にかかわらず自動更新されます

- WordPress Toolkit 経由でインストールされた新しいテーマに対し、デフォルトで自動更新を有効にする

- 強制

すべてのテーマが個別の自動更新設定にかかわらず強制的に自動更新されます

インストール

Cancel

全般

・インストールパス：WordPress をインストールするディレクトリを選択します。

<https://example.jp/wordpress/>のような URL でアクセスしたい場合は、/wordpress を設定します。

<https://example.jp/wordpress/>に WordPress をインストールしたいが、ブラウザでのアクセス URL は <https://example.jp/>にしたい場合、WordPress の管理画面で設定を変更する必要がある場合があります。設定変更方法については、WordPress 公式の手順をご参照ください。

また、サーバ移行等のために臨時 FTP 領域の URL を指定してインストールした場合も、DNS 切り替え後に WordPress の管理画面で URL を変更する必要があります。手順については WordPress 公式の手順をご参照ください。

DNS 切り替え前に、独自ドメインで WordPress をインストールした場合は、お客様自身のパソコンの hosts ファイルを修正してホームページを確認する方法もございます。(hosts ファイル編集はサポート対象外のため任意でお試しください。)

- ・ウェブサイトタイトル：WordPress のサイト名を設定します。
- ・プラグイン/テーマセット：WordPress のプラグイン・テーマを選択可能です。
- ・ウェブサイトの言語：WordPress のサイトの言語を選択します。
- ・バージョン：WordPress のバージョンを選択します。

WordPress 管理者

- ・ユーザ名：WordPress の管理者ユーザー名を入力します。セキュリティ確保の為、admin など一般的な名前は使用せず変更することをお勧めします。
- ・パスワード：WordPress の管理者パスワードを入力します。
- ・メールアドレス：WordPress の管理者のメールアドレスを入力します。

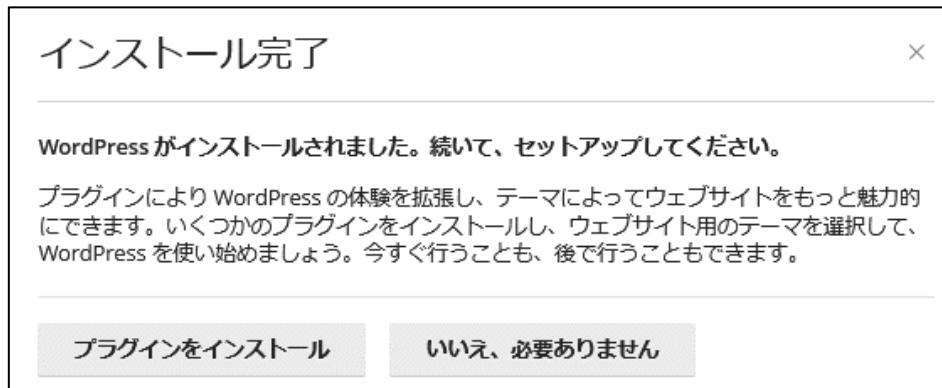
データベース

- ・データベース名：WordPress をインストールするデータベースです。ログイン情報に記載の、すでに作成済みのデータベース名を入力します。
- ・テーブルプレフィックス：データベースのテーブル名に使用する接頭辞です。任意の文字列に変更可能です。
- ・データベースユーザ名：データベースのユーザ名を入力します。デフォルトでは新規ユーザが作成されますが、既存ユーザ名を入力して使用することも可能です。
- ・データベースユーザのパスワード：データベースユーザのパスワードを入力します。既存ユーザを使用する場合は「データベースユーザ名」欄で指定したユーザのパスワードを入力してください。

自動更新の設定

- ・WordPress を自動更新：WordPress を自動でアップデートされるように設定することができます。任意に選択していただいて構いません。
- ・プラグインを自動更新：プラグインを自動でアップデートされるように設定することができます。任意に設定していただいて構いません。
- ・テーマを自動更新：テーマを自動でアップデートされるように設定することができます。任意に設定していただいて構いません。

4. インストール完了画面が表示されます。プラグインのインストールを今すぐ行う場合、プラグインをインストールを選択してください。



5. WordPress Toolkit のホーム画面にて、ログインをクリックすると WordPress の管理画面にアクセスできます。画像部分をクリックすると WordPress のサイトにアクセスできます。

